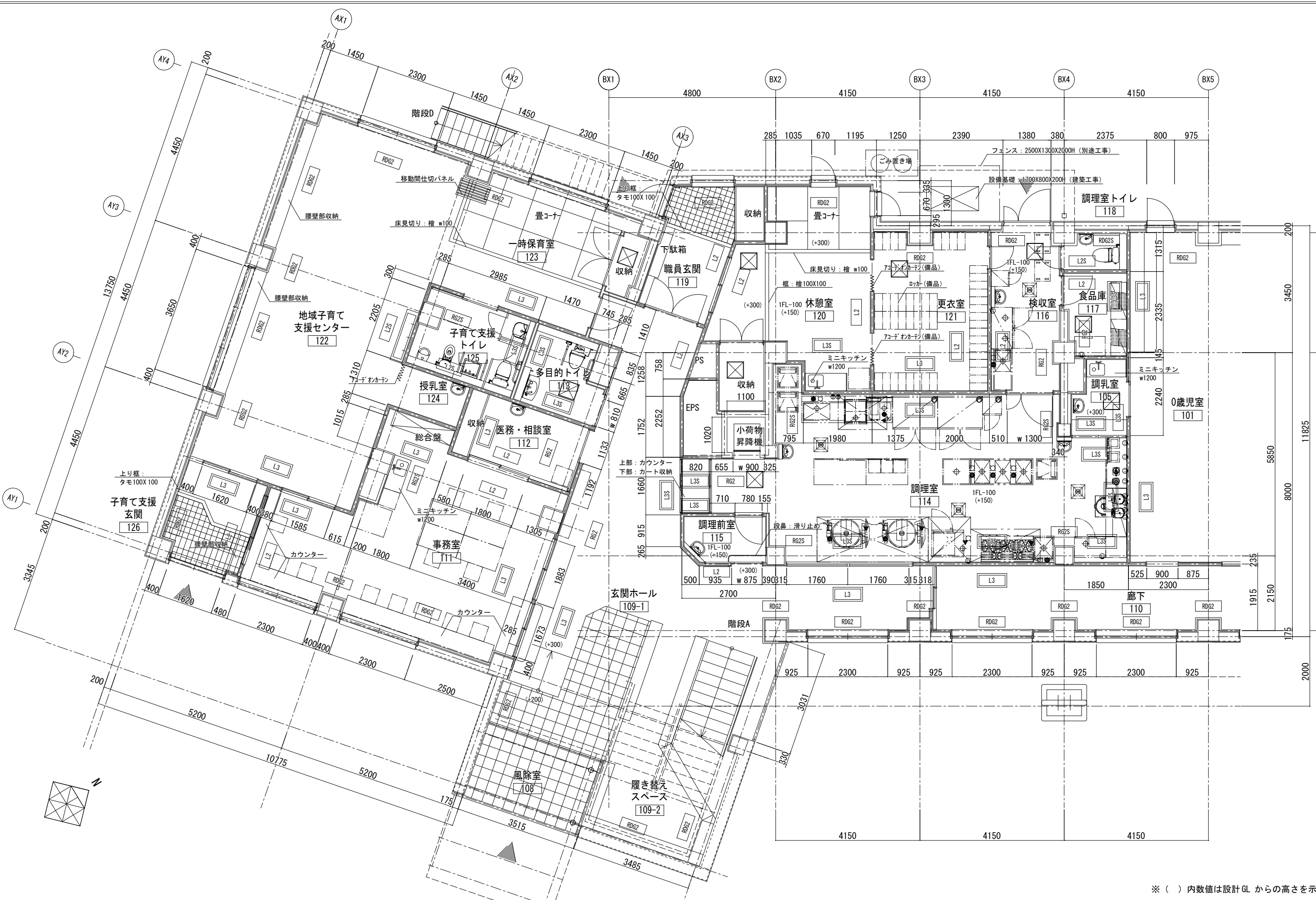


排水工事	21 ② 排水材及びふた	<p>① 鋼鉄製のホムふた (21.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> </tr> <tr> <td>・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> </tr> <tr> <td>・密閉形(チッパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形</td> <td></td> </tr> </table> <p>② グレーチングふた (21.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>メンバー</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>① 鋼製 ・ステンレス製</td> <td>② 受枠付き ・ボルト固定 ③ 無し</td> <td>・溝ふた用 ④ 脚ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 ・円形</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>※細目 ※普通目 ⑤ 細目</td> <td>※凹凸形 ・凹凸形</td> </tr> </table> <p>3 埋戻し土 ※B種 ・建設汚泥から再生した処理土 (21.2.3)</p>	種類	適用荷重	・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・密閉形(チッパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形		材質	形式	種類	適用荷重	メンバー	上面形状	① 鋼製 ・ステンレス製	② 受枠付き ・ボルト固定 ③ 無し	・溝ふた用 ④ 脚ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 ・円形	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	※細目 ※普通目 ⑤ 細目	※凹凸形 ・凹凸形																																																										
	種類	適用荷重																																																																												
	・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用																																																																												
・密閉形(チッパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形																																																																														
材質	形式	種類	適用荷重	メンバー	上面形状																																																																									
① 鋼製 ・ステンレス製	② 受枠付き ・ボルト固定 ③ 無し	・溝ふた用 ④ 脚ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 ・円形	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	※細目 ※普通目 ⑤ 細目	※凹凸形 ・凹凸形																																																																									
22 ① 盛土に用いる材料	<p>・A種 ② B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.1)</p> <p>2 凍上抑制層の材料 ※再生クワッシュラン ・クワッシュラン 切り込み砂利 (22.2.3)</p> <p>3 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>普通ボルト</th> <th>セメント</th> <th>ファイブセメント</th> </tr> <tr> <td>・高ガセメントB種 ・生石灰() ・消石灰()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>添加量 kg/m³(目標CBR ※5)</p> <p>④ ショットクリックによる安定処理</p> <p>⑤ ショットクリックの品質</p> <p>単位面積質量 60g/m²以上 厚さ(mm) 0.5~1.0</p> <p>引張り強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上</p> <p>透水計数 0.15cm/sec以上</p> <p>4 路床の試験</p> <p>・支持力試験を行う(※乱した土 ・ 乱さない土) (22.2.5)</p> <p>・路床締固め度の試験を行う</p> <p>⑥ 路盤材料</p> <p>⑦ 再生クワッシュラン(RC-40) (22.3.3)(表22.3.2)</p> <p>・クワッシュラン(C-40)又はクワッシュラン鉄鋼スラグ(CS-40)</p> <p>⑧ 路盤の締固め度試験</p> <p>※行う (22.3.5)</p> <p>⑨ アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>車道部の基礎</th> <th>カー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>⑩ アスファルト舗装</td> <td>⑪ 無し ・ 有り</td> <td>⑫ 顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td>・カー舗装</td> <td>※無し ・ 有り</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>カー舗装の着色骨材</td> <td>・有色骨材(焼成)</td> <td>・着色骨材(樹脂被覆)</td> </tr> </table> <p>アスファルト ※再生アスファルト ・ スレトアスファルト (22.4.3)</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4)(表22.4.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>一般地域</th> <th>寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>・ 粗粒度アスファルト混合物(20)</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑬ シールド ※行わない ・ 行う(施工範囲:) (22.4.5)</p> <p>⑭ アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.4.6)</p> <p>8 コンクリート舗装</p> <p>早強セメント ※使用しない ・ 使用する (22.5.3)</p> <p>注入材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)</p> <p>溶接金網 ※有り ・ 無し (22.5.3)(22.5.4)</p> <p>9 カラー舗装 (22.6.2)(表22.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>※加熱系</td> <td>・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td> <td>・車道</td> </tr> <tr> <td>・常温系</td> <td>・樹脂系混合物 ・塗布工法 ・ニート工法</td> <td>・歩道</td> </tr> </table> <p>⑮ アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.6.6)</p> <p>10 透水性アスファルト舗装</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.7.6)</p> <p>厚さ試験 ※行わない ・ 行う</p> <p>11 排水性アスファルト舗装</p> <p>排水性舗装用アスファルト混合物 (22.8.3)(表22.8.2)</p> <p>※ポリマー改質アスファルトⅡ種 ・ ポリマー改質アスファルトⅠ種 (22.8.6)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う</p> <p>⑯ ブロック系舗装 (22.9.2)(22.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>※普通平板(N) ・ 洗出平板(W) ・ 掘石平板(S)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂 ・ モルタル</td> </tr> </table> <p>⑰ セクターロックアップブロック舗装 (22.9.2)(22.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>曲げ強度</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面加工及び色彩等</th> </tr> <tr> <td>⑱ 普通タイプ</td> <td>5.0N/mm²以上</td> <td>車道部 ※80 歩道部 ※60</td> <td>※標準タイプ ・ 表面化粧タイプ</td> </tr> <tr> <td>・ 誘導、注意喚起用タイプ</td> <td></td> <td></td> <td>・ 誘導、注意喚起用</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性タイプ</td> <td>3.0N/mm²以上</td> <td></td> <td>は黄色とする</td> </tr> <tr> <td>・ 植生タイプ</td> <td>4.0N/mm²以上</td> <td>※80 ・ 100</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 掘石舗装 (22.9.2)(22.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> </tr> <tr> <td>※小掘石(花崗岩) ・</td> <td>※80~100</td> <td>※ろこ張り ・</td> <td>※コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装</td> </tr> </table>	種類	普通ボルト	セメント	ファイブセメント	・高ガセメントB種 ・生石灰() ・消石灰()				舗装の種類	車道部の基礎	カー舗装の種類	⑩ アスファルト舗装	⑪ 無し ・ 有り	⑫ 顔料混入加熱アスファルト混合物	・カー舗装	※無し ・ 有り	・	カー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)	区分	一般地域	寒冷地域	表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)		・ 粒度アスファルト混合物(13)	・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)	基層	・ 粗粒度アスファルト混合物(20)		舗装の種類	部位	厚さ	※加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道	・常温系	・樹脂系混合物 ・塗布工法 ・ニート工法	・歩道	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N) ・ 洗出平板(W) ・ 掘石平板(S)	※300角	※60	※砂 ・ モルタル	種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等	⑱ 普通タイプ	5.0N/mm ² 以上	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準タイプ ・ 表面化粧タイプ	・ 誘導、注意喚起用タイプ			・ 誘導、注意喚起用	・ 透水性タイプ	3.0N/mm ² 以上		は黄色とする	・ 植生タイプ	4.0N/mm ² 以上	※80 ・ 100		種類	厚さ(mm)	施工方法	基層	※小掘石(花崗岩) ・	※80~100	※ろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装
種類	普通ボルト	セメント	ファイブセメント																																																																											
・高ガセメントB種 ・生石灰() ・消石灰()																																																																														
舗装の種類	車道部の基礎	カー舗装の種類																																																																												
⑩ アスファルト舗装	⑪ 無し ・ 有り	⑫ 顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																												
・カー舗装	※無し ・ 有り	・																																																																												
カー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)																																																																												
区分	一般地域	寒冷地域																																																																												
表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)																																																																												
	・ 粒度アスファルト混合物(13)	・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)																																																																												
基層	・ 粗粒度アスファルト混合物(20)																																																																													
舗装の種類	部位	厚さ																																																																												
※加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道																																																																												
・常温系	・樹脂系混合物 ・塗布工法 ・ニート工法	・歩道																																																																												
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																																																											
※普通平板(N) ・ 洗出平板(W) ・ 掘石平板(S)	※300角	※60	※砂 ・ モルタル																																																																											
種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等																																																																											
⑱ 普通タイプ	5.0N/mm ² 以上	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準タイプ ・ 表面化粧タイプ																																																																											
・ 誘導、注意喚起用タイプ			・ 誘導、注意喚起用																																																																											
・ 透水性タイプ	3.0N/mm ² 以上		は黄色とする																																																																											
・ 植生タイプ	4.0N/mm ² 以上	※80 ・ 100																																																																												
種類	厚さ(mm)	施工方法	基層																																																																											
※小掘石(花崗岩) ・	※80~100	※ろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装																																																																											
舗装工事	22 ③ 区画線	<p>路面表示用塗料</p> <table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類</th> <th>施工時の条件</th> <th>適用</th> <th>寸法(mm)</th> <th>適用</th> </tr> <tr> <td>JIS K 5665</td> <td>・1種 ・2種 ※3種1号</td> <td>常温 加熱 溶解</td> <td>液状 粉体状</td> <td>幅 ※150 厚さ ※1.0</td> <td>※白 ・ 黄</td> </tr> </table> <p>揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。</p> <p>23 1 土壌の酸性、水溶性塩類(EO)の試験 ※行う (23.1.3)</p> <p>2 樹木の植栽基盤整備</p> <p>芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>有効土層の厚さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>※行う ・ 行わない</td> <td>※20</td> <td>※B種</td> <td>※植栽範囲 ・ 図示</td> </tr> </table> <p>樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>※100</td> <td>・A種</td> <td>※葉張り範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>※80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>※60</td> <td>・C種</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>※50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p> <p>3 植込み用土 ※現場発生土の良質土 ・ 客土(※畑土 ・ 黒土) (23.2.3)</p> <p>4 土壌改良材 ※適用する (23.2.3)(23.2.4)</p> <p>施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示</p> <p>5 支柱材 ※防腐処理杉丸太 ・ 杉の焼き丸太 ・ 竹 (23.3.2)</p> <p>6 幹巻き用材料 ※幹巻きテープ ・ わら及びこも (23.3.2)</p> <p>7 芝張り 種類 ※こらい芝 ・ 野芝 (23.4.2)</p> <p>8 枯補償及び枯損処理 期間 ※引渡しの日から1年間 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5)</p> <p>・ 年間 ・ 年 月 日迄</p> <p>9 屋上緑化システム</p> <p>土壌層 ※改良土 ・ 人工軽量土 (23.5.2)(23.5.3)</p> <p>厚さ mm</p> <p>保水・排水層 ・ 軽量骨材層(厚さ mm) ・ 板状成形品 (23.5.3)</p> <p>※「屋根ふき材及び屋外に面する傾壁の風圧に対する構造体上への安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付け建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を標仕1.2.2【施工計画書】による品質計画で定める</p>	規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	適用	JIS K 5665	・1種 ・2種 ※3種1号	常温 加熱 溶解	液状 粉体状	幅 ※150 厚さ ※1.0	※白 ・ 黄	適用	有効土層の厚さ(mm)	工法	整備範囲	※行う ・ 行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・ 図示	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	・12以上	※100	・A種	※葉張り範囲	・7以上~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3以上~7未満	※60	・C種	・ 図示	・3未満	※50	・D種																																					
	規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	適用																																																																								
	JIS K 5665	・1種 ・2種 ※3種1号	常温 加熱 溶解	液状 粉体状	幅 ※150 厚さ ※1.0	※白 ・ 黄																																																																								
適用	有効土層の厚さ(mm)	工法	整備範囲																																																																											
※行う ・ 行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・ 図示																																																																											
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																																																																											
・12以上	※100	・A種	※葉張り範囲																																																																											
・7以上~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																																																																											
・3以上~7未満	※60	・C種	・ 図示																																																																											
・3未満	※50	・D種																																																																												
24 ④ 室内空気有機化学物質低減対策	<p>1) 建築材料等の選択</p> <p>※ 建築材料はF☆☆☆☆を基準とするほか、ホルムアルデヒド以外の物質(別表Aの物質)の発散が極めて少ない材料を選択する。</p> <p>なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆又はその同等品(旧JAS及び旧JISにおけるFco、Eoのものを含む。)を使用する場合は、建築基準法の規定により使用面積制限計算書等を監督員に提出し、監督員の承認を受けること。</p> <p>※ 塗料及び接着剤はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンを含有しないか、トルエン等の含有量が極めて少ない規格品とする。</p> <p>※ 防霉・防蟻剤はクロロピリオス、ダイアジノン及びフェノルカルブを含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後で現場に搬入したものを使用する。</p> <p>※ 壁紙用接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を使用しているものを使用する。</p> <p>※ 選定した使用材料については室別かつ部位別に使用材料台帳を作成する。</p> <p>1)の使用面積制限計算書の代用を可とする。</p> <p>2) 施工中の安全管理</p> <p>※ 施工に先立ち、工法、材料等を確認し、指針値に関し意見等のある場合は申し出る。</p> <p>※ 施工中も強い臭気等に注意する。</p> <p>※ 接着剤及び塗料の塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い室内に発散した化学物質等を室外に放出させること。</p> <p>※ 接着剤及び塗料の使用済み缶等は、速やかに場外に搬出させること。</p> <p>3) 測定時期</p> <p>※ 測定時期は、本工事のほか関連設備工事とも施工終了後とする。内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は設備の試運転が終了していることとする。</p> <p>※ 測定時期の決定は、測定結果が基準値・指針値を超えた場合に、8)の措置を講じる時間を見込むこと。</p> <p>※ 大規模改修等改修工事の場合は、着手前に監督員の指定する一室について、4)の別表A、Bの物質測定を行うものとし、施工終了後も同様とする。</p> <p>※ 改修等新築工事の場合は、完成後に監督員の指定する一室について、4)の別表A、Bの13物質測定を行うものとし、施工後も同様とする。</p>																																																																													

排水工事	21 ② 排水材及びふた	<p>① 鋼鉄製のホムふた (21.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> </tr> <tr> <td>・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> </tr> <tr> <td>・密閉形(チッパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形</td> <td></td> </tr> </table> <p>② グレーチングふた (21.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>メンバー</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>① 鋼製 ・ステンレス製</td> <td>② 受枠付き ・ボルト固定 ③ 無し</td> <td>・溝ふた用 ④ 脚ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 ・円形</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>※細目 ※普通目 ⑤ 細目</td> <td>※凹凸形 ・凹凸形</td> </tr> </table> <p>3 埋戻し土 ※B種 ・建設汚泥から再生した処理土 (21.2.3)</p>	種類	適用荷重	・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・密閉形(チッパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形		材質	形式	種類	適用荷重	メンバー	上面形状	① 鋼製 ・ステンレス製	② 受枠付き ・ボルト固定 ③ 無し	・溝ふた用 ④ 脚ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 ・円形	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	※細目 ※普通目 ⑤ 細目	※凹凸形 ・凹凸形																																																										
	種類	適用荷重																																																																												
	・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用																																																																												
・密閉形(チッパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形																																																																														
材質	形式	種類	適用荷重	メンバー	上面形状																																																																									
① 鋼製 ・ステンレス製	② 受枠付き ・ボルト固定 ③ 無し	・溝ふた用 ④ 脚ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 ・円形	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	※細目 ※普通目 ⑤ 細目	※凹凸形 ・凹凸形																																																																									
22 ① 盛土に用いる材料	<p>・A種 ② B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.1)</p> <p>2 凍上抑制層の材料 ※再生クワッシュラン ・クワッシュラン 切り込み砂利 (22.2.3)</p> <p>3 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>普通ボルト</th> <th>セメント</th> <th>ファイブセメント</th> </tr> <tr> <td>・高ガセメントB種 ・生石灰() ・消石灰()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>添加量 kg/m³(目標CBR ※5)</p> <p>④ ショットクリックによる安定処理</p> <p>⑤ ショットクリックの品質</p> <p>単位面積質量 60g/m²以上 厚さ(mm) 0.5~1.0</p> <p>引張り強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上</p> <p>透水計数 0.15cm/sec以上</p> <p>4 路床の試験</p> <p>・支持力試験を行う(※乱した土 ・ 乱さない土) (22.2.5)</p> <p>・路床締固め度の試験を行う</p> <p>⑥ 路盤材料</p> <p>⑦ 再生クワッシュラン(RC-40) (22.3.3)(表22.3.2)</p> <p>・クワッシュラン(C-40)又はクワッシュラン鉄鋼スラグ(CS-40)</p> <p>⑧ 路盤の締固め度試験</p> <p>※行う (22.3.5)</p> <p>⑨ アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>車道部の基礎</th> <th>カー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>⑩ アスファルト舗装</td> <td>⑪ 無し ・ 有り</td> <td>⑫ 顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td>・カー舗装</td> <td>※無し ・ 有り</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>カー舗装の着色骨材</td> <td>・有色骨材(焼成)</td> <td>・着色骨材(樹脂被覆)</td> </tr> </table> <p>アスファルト ※再生アスファルト ・ スレトアスファルト (22.4.3)</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4)(表22.4.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>一般地域</th> <th>寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>・ 粗粒度アスファルト混合物(20)</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑬ シールド ※行わない ・ 行う(施工範囲:) (22.4.5)</p> <p>⑭ アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.4.6)</p> <p>8 コンクリート舗装</p> <p>早強セメント ※使用しない ・ 使用する (22.5.3)</p> <p>注入材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)</p> <p>溶接金網 ※有り ・ 無し (22.5.3)(22.5.4)</p> <p>9 カラー舗装 (22.6.2)(表22.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>※加熱系</td> <td>・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td> <td>・車道</td> </tr> <tr> <td>・常温系</td> <td>・樹脂系混合物 ・塗布工法 ・ニート工法</td> <td>・歩道</td> </tr> </table> <p>⑮ アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.6.6)</p> <p>10 透水性アスファルト舗装</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.7.6)</p> <p>厚さ試験 ※行わない ・ 行う</p> <p>11 排水性アスファルト舗装</p> <p>排水性舗装用アスファルト混合物 (22.8.3)(表22.8.2)</p> <p>※ポリマー改質アスファルトⅡ種 ・ ポリマー改質アスファルトⅠ種 (22.8.6)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う</p> <p>⑯ ブロック系舗装 (22.9.2)(22.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>※普通平板(N) ・ 洗出平板(W) ・ 掘石平板(S)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂 ・ モルタル</td> </tr> </table> <p>⑰ セクターロックアップブロック舗装 (22.9.2)(22.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>曲げ強度</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面加工及び色彩等</th> </tr> <tr> <td>⑱ 普通タイプ</td> <td>5.0N/mm²以上</td> <td>車道部 ※80 歩道部 ※60</td> <td>※標準タイプ ・ 表面化粧タイプ</td> </tr> <tr> <td>・ 誘導、注意喚起用タイプ</td> <td></td> <td></td> <td>・ 誘導、注意喚起用</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性タイプ</td> <td>3.0N/mm²以上</td> <td></td> <td>は黄色とする</td> </tr> <tr> <td>・ 植生タイプ</td> <td>4.0N/mm²以上</td> <td>※80 ・ 100</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 掘石舗装 (22.9.2)(22.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> </tr> <tr> <td>※小掘石(花崗岩) ・</td> <td>※80~100</td> <td>※ろこ張り ・</td> <td>※コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装</td> </tr> </table>	種類	普通ボルト	セメント	ファイブセメント	・高ガセメントB種 ・生石灰() ・消石灰()				舗装の種類	車道部の基礎	カー舗装の種類	⑩ アスファルト舗装	⑪ 無し ・ 有り	⑫ 顔料混入加熱アスファルト混合物	・カー舗装	※無し ・ 有り	・	カー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)	区分	一般地域	寒冷地域	表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)		・ 粒度アスファルト混合物(13)	・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)	基層	・ 粗粒度アスファルト混合物(20)		舗装の種類	部位	厚さ	※加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道	・常温系	・樹脂系混合物 ・塗布工法 ・ニート工法	・歩道	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N) ・ 洗出平板(W) ・ 掘石平板(S)	※300角	※60	※砂 ・ モルタル	種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等	⑱ 普通タイプ	5.0N/mm ² 以上	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準タイプ ・ 表面化粧タイプ	・ 誘導、注意喚起用タイプ			・ 誘導、注意喚起用	・ 透水性タイプ	3.0N/mm ² 以上		は黄色とする	・ 植生タイプ	4.0N/mm ² 以上	※80 ・ 100		種類	厚さ(mm)	施工方法	基層	※小掘石(花崗岩) ・	※80~100	※ろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装
種類	普通ボルト	セメント	ファイブセメント																																																																											
・高ガセメントB種 ・生石灰() ・消石灰()																																																																														
舗装の種類	車道部の基礎	カー舗装の種類																																																																												
⑩ アスファルト舗装	⑪ 無し ・ 有り	⑫ 顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																												
・カー舗装	※無し ・ 有り	・																																																																												
カー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)																																																																												
区分	一般地域	寒冷地域																																																																												
表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)																																																																												
	・ 粒度アスファルト混合物(13)	・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)																																																																												
基層	・ 粗粒度アスファルト混合物(20)																																																																													
舗装の種類	部位	厚さ																																																																												
※加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道																																																																												
・常温系	・樹脂系混合物 ・塗布工法 ・ニート工法	・歩道																																																																												
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																																																											
※普通平板(N) ・ 洗出平板(W) ・ 掘石平板(S)	※300角	※60	※砂 ・ モルタル																																																																											
種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等																																																																											
⑱ 普通タイプ	5.0N/mm ² 以上	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準タイプ ・ 表面化粧タイプ																																																																											
・ 誘導、注意喚起用タイプ			・ 誘導、注意喚起用																																																																											
・ 透水性タイプ	3.0N/mm ² 以上		は黄色とする																																																																											
・ 植生タイプ	4.0N/mm ² 以上	※80 ・ 100																																																																												
種類	厚さ(mm)	施工方法	基層																																																																											
※小掘石(花崗岩) ・	※80~100	※ろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装																																																																											
22 ③ 区画線	<p>路面表示用塗料</p> <table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類</th> <th>施工時の条件</th> <th>適用</th> <th>寸法(mm)</th> <th>適用</th> </tr> <tr> <td>JIS K 5665</td> <td>・1種 ・2種 ※3種1号</td> <td>常温 加熱 溶解</td> <td>液状 粉体状</td> <td>幅 ※150 厚さ ※1.0</td> <td>※白 ・ 黄</td> </tr> </table> <p>揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。</p> <p>23 1 土壌の酸性、水溶性塩類(EO)の試験 ※行う (23.1.3)</p> <p>2 樹木の植栽基盤整備</p> <p>芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>有効土層の厚さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>※行う ・ 行わない</td> <td>※20</td> <td>※B種</td> <td>※植栽範囲 ・ 図示</td> </tr> </table> <p>樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>※100</td> <td>・A種</td> <td>※葉張り範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>※80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>※60</td> <td>・C種</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>※50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p> <p>3 植込み用土 ※現場発生土の良質土 ・ 客土(※畑土 ・ 黒土) (23.2.3)</p> <p>4 土壌改良材 ※適用する (23.2.3)(23.2.4)</p> <p>施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示</p> <p>5 支柱材 ※防腐処理杉丸太 ・ 杉の焼き丸太 ・ 竹 (23.3.2)</p> <p>6 幹巻き用材料 ※幹巻きテープ ・ わら及びこも (23.3.2)</p> <p>7 芝張り 種類 ※こらい芝 ・ 野芝 (23.4.2)</p> <p>8 枯補償及び枯損処理 期間 ※引渡しの日から1年間 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5)</p> <p>・ 年間 ・ 年 月 日迄</p> <p>9 屋上緑化システム</p> <p>土壌層 ※改良土 ・ 人工軽量土 (23.5.2)(23.5.3)</p> <p>厚さ mm</p> <p>保水・排水層 ・ 軽量骨材層(厚さ mm) ・ 板状成形品 (23.5.3)</p> <p>※「屋根ふき材及び屋外に面する傾壁の風圧に対する構造体上への安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付け建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を標仕1.2.2【施工計画書】による品質計画で定める</p>	規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	適用	JIS K 5665	・1種 ・2種 ※3種1号	常温 加熱 溶解	液状 粉体状	幅 ※150 厚さ ※1.0	※白 ・ 黄	適用	有効土層の厚さ(mm)	工法	整備範囲	※行う ・ 行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・ 図示	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	・12以上	※100	・A種	※葉張り範囲	・7以上~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3以上~7未満	※60	・C種	・ 図示	・3未満	※50	・D種																																						
規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	適用																																																																									
JIS K 5665	・1種 ・2種 ※3種1号	常温 加熱 溶解	液状 粉体状	幅 ※150 厚さ ※1.0	※白 ・ 黄																																																																									
適用	有効土層の厚さ(mm)	工法	整備範囲																																																																											
※行う ・ 行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・ 図示																																																																											
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																																																																											
・12以上	※100	・A種	※葉張り範囲																																																																											
・7以上~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																																																																											
・3以上~7未満	※60	・C種	・ 図示																																																																											
・3未満	※50	・D種																																																																												
24 ④ 室内空気有機化学物質低減対策	<p>1) 建築材料等の選択</p> <p>※ 建築材料はF☆☆☆☆を基準とするほか、ホルムアルデヒド以外の物質(別表Aの物質)の発散が極めて少ない材料を選択する。</p> <p>なお、該当する材料等がない場合において、F☆☆☆☆又はその同等品(旧JAS及び旧JISにおけるFco、Eoのものを含む。)を使用する場合は、建築基準法の規定により使用面積制限計算書等を監督員に提出し、監督員の承認を受けること。</p> <p>※ 塗料及び接着剤はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンを含有しないか、トルエン等の含有量が極めて少ない規格品とする。</p> <p>※ 防霉・防蟻剤はクロロピリオス、ダイアジノン及びフェノルカルブを含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後で現場に搬入したものを使用する。</p> <p>※ 壁紙用接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を使用しているものを使用する。</p> <p>※ 選定した使用材料については室別かつ部位別に使用材料台帳を作成する。</p> <p>1)の使用面積制限計算書の代用を可とする。</p> <p>2) 施工中の安全管理</p> <p>※ 施工に先立ち、工法、材料等を確認し、指針値に関し意見等のある場合は申し出る。</p> <p>※ 施工中も強い臭気等に注意する。</p> <p>※ 接着剤及び塗料の塗布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い室内に発散した化学物質等を室外に放出させること。</p> <p>※ 接着剤及び塗料の使用済み缶等は、速やかに場外に搬出させること。</p> <p>3) 測定時期</p> <p>※ 測定時期は、本工事のほか関連設備工事とも施工終了後とする。内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空調設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は設備の試運転が終了していることとする。</p> <p>※ 測定時期の決定は、測定結果が基準値・指針値を超えた場合に、8)の措置を講じる時間を見込むこと。</p> <p>※ 大規模改修等改修工事の場合は、着手前に監督員の指定する一室について、4)の別表A、Bの物質測定を行うものとし、施工終了後も同様とする。</p> <p>※ 改修等新築工事の場合は、完成後に監督員の指定する一室について、4)の別表A、Bの13物質測定を行うものとし、施工後も同様とする。</p>																																																																													

排水工事	21 ② 排水材及びふた	<p>① 鋼鉄製のホムふた (21.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> </tr> <tr> <td>・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> </tr> <tr> <td>・密閉形(チッパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形</td> <td></td> </tr> </table> <p>② グレーチングふた (21.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>メンバー</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>① 鋼製 ・ステンレス製</td> <td>② 受枠付き ・ボルト固定 ③ 無し</td> <td>・溝ふた用 ④ 脚ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 ・円形</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>※細目 ※普通目 ⑤ 細目</td> <td>※凹凸形 ・凹凸形</td> </tr> </table> <p>3 埋戻し土 ※B種 ・建設汚泥から再生した処理土 (21.2.3)</p>	種類	適用荷重	・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・密閉形(チッパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形		材質	形式	種類	適用荷重	メンバー	上面形状	① 鋼製 ・ステンレス製	② 受枠付き ・ボルト固定 ③ 無し	・溝ふた用 ④ 脚ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 ・円形	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	※細目 ※普通目 ⑤ 細目	※凹凸形 ・凹凸形																																																										
	種類	適用荷重																																																																												
	・水封形 ・簡易気密形(パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用																																																																												
・密閉形(チッパー・パッキン式) ・中ふた付密閉形																																																																														
材質	形式	種類	適用荷重	メンバー	上面形状																																																																									
① 鋼製 ・ステンレス製	② 受枠付き ・ボルト固定 ③ 無し	・溝ふた用 ④ 脚ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 ・円形	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	※細目 ※普通目 ⑤ 細目	※凹凸形 ・凹凸形																																																																									
22 ① 盛土に用いる材料	<p>・A種 ② B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)(表3.2.1)</p> <p>2 凍上抑制層の材料 ※再生クワッシュラン ・クワッシュラン 切り込み砂利 (22.2.3)</p> <p>3 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>普通ボルト</th> <th>セメント</th> <th>ファイブセメント</th> </tr> <tr> <td>・高ガセメントB種 ・生石灰() ・消石灰()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>添加量 kg/m³(目標CBR ※5)</p> <p>④ ショットクリックによる安定処理</p> <p>⑤ ショットクリックの品質</p> <p>単位面積質量 60g/m²以上 厚さ(mm) 0.5~1.0</p> <p>引張り強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上</p> <p>透水計数 0.15cm/sec以上</p> <p>4 路床の試験</p> <p>・支持力試験を行う(※乱した土 ・ 乱さない土) (22.2.5)</p> <p>・路床締固め度の試験を行う</p> <p>⑥ 路盤材料</p> <p>⑦ 再生クワッシュラン(RC-40) (22.3.3)(表22.3.2)</p> <p>・クワッシュラン(C-40)又はクワッシュラン鉄鋼スラグ(CS-40)</p> <p>⑧ 路盤の締固め度試験</p> <p>※行う (22.3.5)</p> <p>⑨ アスファルト舗装 (22.4.2)(表22.4.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>車道部の基礎</th> <th>カー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>⑩ アスファルト舗装</td> <td>⑪ 無し ・ 有り</td> <td>⑫ 顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td>・カー舗装</td> <td>※無し ・ 有り</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>カー舗装の着色骨材</td> <td>・有色骨材(焼成)</td> <td>・着色骨材(樹脂被覆)</td> </tr> </table> <p>アスファルト ※再生アスファルト ・ スレトアスファルト (22.4.3)</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4)(表22.4.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>一般地域</th> <th>寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td>・ 粗粒度アスファルト混合物(20)</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑬ シールド ※行わない ・ 行う(施工範囲:) (22.4.5)</p> <p>⑭ アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.4.6)</p> <p>8 コンクリート舗装</p> <p>早強セメント ※使用しない ・ 使用する (22.5.3)</p> <p>注入材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.3)</p> <p>溶接金網 ※有り ・ 無し (22.5.3)(22.5.4)</p> <p>9 カラー舗装 (22.6.2)(表22.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>※加熱系</td> <td>・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td> <td>・車道</td> </tr> <tr> <td>・常温系</td> <td>・樹脂系混合物 ・塗布工法 ・ニート工法</td> <td>・歩道</td> </tr> </table> <p>⑮ アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.6.6)</p> <p>10 透水性アスファルト舗装</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.7.6)</p> <p>厚さ試験 ※行わない ・ 行う</p> <p>11 排水性アスファルト舗装</p> <p>排水性舗装用アスファルト混合物 (22.8.3)(表22.8.2)</p> <p>※ポリマー改質アスファルトⅡ種 ・ ポリマー改質アスファルトⅠ種 (22.8.6)</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う</p> <p>⑯ ブロック系舗装 (22.9.2)(22.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>※普通平板(N) ・ 洗出平板(W) ・ 掘石平板(S)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂 ・ モルタル</td> </tr> </table> <p>⑰ セクターロックアップブロック舗装 (22.9.2)(22.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>曲げ強度</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面加工及び色彩等</th> </tr> <tr> <td>⑱ 普通タイプ</td> <td>5.0N/mm²以上</td> <td>車道部 ※80 歩道部 ※60</td> <td>※標準タイプ ・ 表面化粧タイプ</td> </tr> <tr> <td>・ 誘導、注意喚起用タイプ</td> <td></td> <td></td> <td>・ 誘導、注意喚起用</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性タイプ</td> <td>3.0N/mm²以上</td> <td></td> <td>は黄色とする</td> </tr> <tr> <td>・ 植生タイプ</td> <td>4.0N/mm²以上</td> <td>※80 ・ 100</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 掘石舗装 (22.9.2)(22.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> </tr> <tr> <td>※小掘石(花崗岩) ・</td> <td>※80~100</td> <td>※ろこ張り ・</td> <td>※コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装</td> </tr> </table>	種類	普通ボルト	セメント	ファイブセメント	・高ガセメントB種 ・生石灰() ・消石灰()				舗装の種類	車道部の基礎	カー舗装の種類	⑩ アスファルト舗装	⑪ 無し ・ 有り	⑫ 顔料混入加熱アスファルト混合物	・カー舗装	※無し ・ 有り	・	カー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)	区分	一般地域	寒冷地域	表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)		・ 粒度アスファルト混合物(13)	・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)	基層	・ 粗粒度アスファルト混合物(20)		舗装の種類	部位	厚さ	※加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道	・常温系	・樹脂系混合物 ・塗布工法 ・ニート工法	・歩道	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	※普通平板(N) ・ 洗出平板(W) ・ 掘石平板(S)	※300角	※60	※砂 ・ モルタル	種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等	⑱ 普通タイプ	5.0N/mm ² 以上	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準タイプ ・ 表面化粧タイプ	・ 誘導、注意喚起用タイプ			・ 誘導、注意喚起用	・ 透水性タイプ	3.0N/mm ² 以上		は黄色とする	・ 植生タイプ	4.0N/mm ² 以上	※80 ・ 100		種類	厚さ(mm)	施工方法	基層	※小掘石(花崗岩) ・	※80~100	※ろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装
種類	普通ボルト	セメント	ファイブセメント																																																																											
・高ガセメントB種 ・生石灰() ・消石灰()																																																																														
舗装の種類	車道部の基礎	カー舗装の種類																																																																												
⑩ アスファルト舗装	⑪ 無し ・ 有り	⑫ 顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																												
・カー舗装	※無し ・ 有り	・																																																																												
カー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)																																																																												
区分	一般地域	寒冷地域																																																																												
表層	※密粒度アスファルト混合物(13)	※密粒度アスファルト混合物(13F)																																																																												
	・ 粒度アスファルト混合物(13)	・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)																																																																												
基層	・ 粗粒度アスファルト混合物(20)																																																																													
舗装の種類	部位	厚さ																																																																												
※加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道																																																																												
・常温系	・樹脂系混合物 ・塗布工法 ・ニート工法	・歩道																																																																												
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																																																											
※普通平板(N) ・ 洗出平板(W) ・ 掘石平板(S)	※300角	※60	※砂 ・ モルタル																																																																											
種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等																																																																											
⑱ 普通タイプ	5.0N/mm ² 以上	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準タイプ ・ 表面化粧タイプ																																																																											
・ 誘導、注意喚起用タイプ			・ 誘導、注意喚起用																																																																											
・ 透水性タイプ	3.0N/mm ² 以上		は黄色とする																																																																											
・ 植生タイプ	4.0N/mm ² 以上	※80 ・ 100																																																																												
種類	厚さ(mm)	施工方法	基層																																																																											
※小掘石(花崗岩) ・	※80~100	※ろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装																																																																											
22 ③ 区画線	<p>路面表示用塗料</p> <table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類</th> <th>施工時の条件</th> <th>適用</th> <th>寸法(mm)</th> <th>適用</th> </tr> <tr> <td>JIS K 5665</td> <td>・1種 ・2種 ※3種1号</td> <td>常温 加熱 溶解</td> <td>液状 粉体状</td> <td>幅 ※150 厚さ ※1.0</td> <td>※白 ・ 黄</td> </tr> </table> <p>揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。</p> <p>23 1 土壌の酸性、水溶性塩類(EO)の試験 ※行う (23.1.3)</p> <p>2 樹木の植栽基盤整備</p> <p>芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>有効土層の厚さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>※行う ・ 行わない</td> <td>※20</td> <td>※B種</td> <td>※植栽範囲 ・ 図示</td> </tr> </table> <p>樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>※100</td> <td>・A種</td> <td>※葉張り範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>※80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>※60</td> <td>・C種</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>※50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地</p>	規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	適用	JIS K 5665	・1種 ・2種 ※3種1号	常温 加熱 溶解	液状 粉体状	幅 ※150 厚さ ※1.0	※白 ・ 黄	適用	有効土層の厚さ(mm)	工法	整備範囲	※行う ・ 行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・ 図示	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	・12以上	※100	・A種	※葉張り範囲	・7以上~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3以上~7未満	※60	・C種	・ 図示	・3未満	※50	・D種																																						
規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	適用																																																																									
JIS K 5665	・1種 ・2種 ※3種1号	常温 加熱 溶解	液状 粉体状	幅 ※150 厚さ ※1.0	※白 ・ 黄																																																																									
適用	有効土層の厚さ(mm)	工法	整備範囲																																																																											
※行う ・ 行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・ 図示																																																																											
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																																																																											
・12以上	※100	・A種	※葉張り範囲																																																																											
・7以上~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																																																																											
・3以上~7未満	※60	・C種	・ 図示																																																																											
・3未満	※50	・D種																																																																												



※ () 内数値は設計GLからの高さを示す。

環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

新潟市建築部公共建築第1課

八千代保育園 改築工事

1階平面詳細図 1

上山寛アトリエ
〒951-8052 新潟市中央区下大川通4-7-2230番地1217大川町213
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ハ) 第3419号 tel. 025-228-0252
一級建築士 家186751号 上山 寛 fax. 025-228-0085

株式会社 環境デザイン研究所
〒106-0022 東京都港区六本木5丁目13番2号丸ビル
一級建築士事務所 東京都知事登録 第9955号 tel. 03-5575-7171
一級建築士 家48154号 斎藤 徹 fax. 03-5575-7178

(株) 金箱構造設計事務所
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-12-14東京技術ビル5F
一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号
一級建築士 家122854号 金箱 浩希
tel. 03-5496-2921 fax. 03-5496-2922

(株) ホー設備設計事務所
〒951-8035 新潟市中央区船場町1-2438-2
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ト) 第1376号
一級建築士 家18619号 折原 幸夫
tel. 025-228-7714 fax. 025-228-7713

工事名

図名

年月日

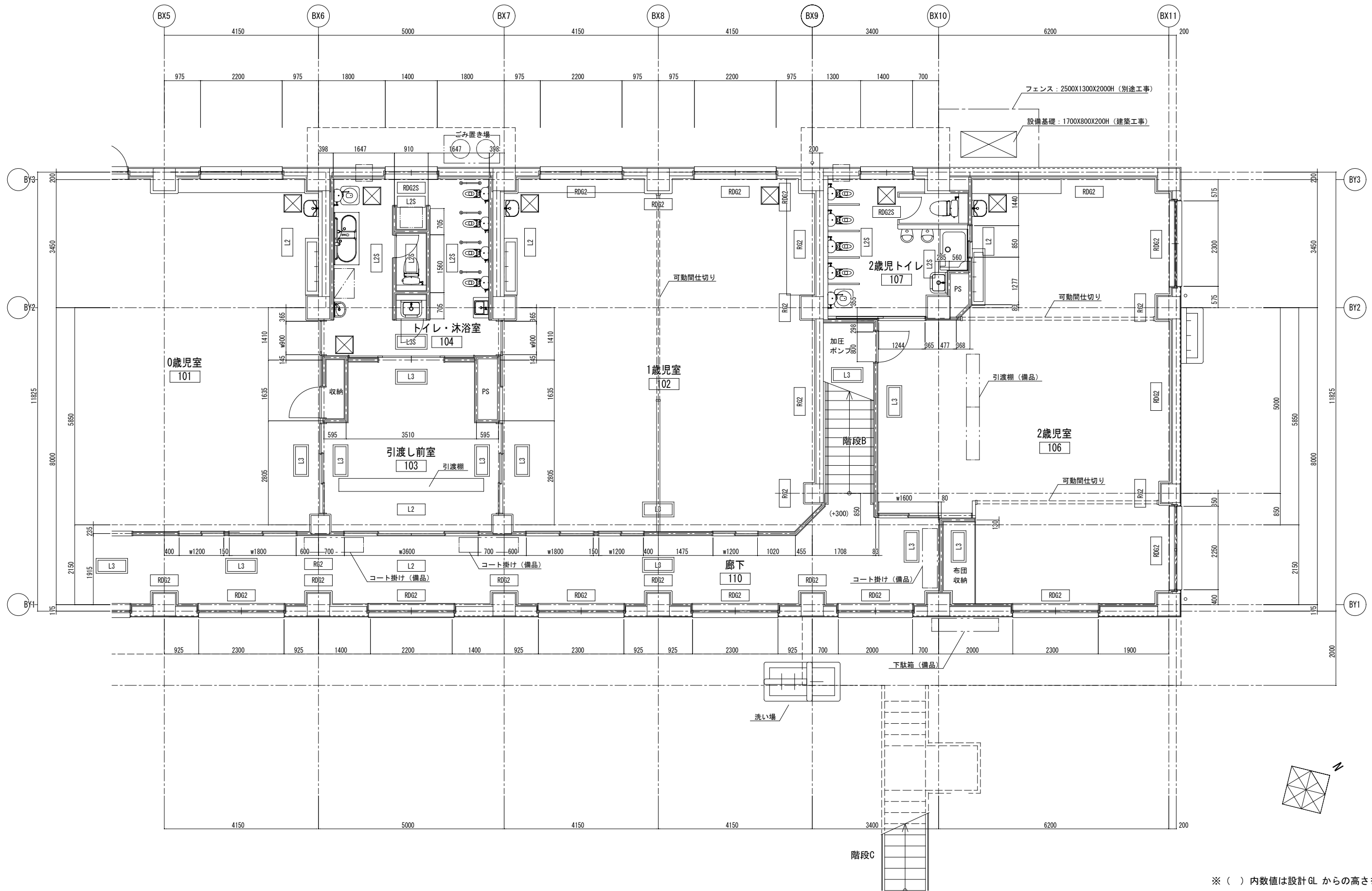
2014.03.14

縮尺

A1:1/50 A3:1/100

図面番号

A-111



※ () 内数値は設計GLからの高さを示す。

環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

上山寛アトリエ
〒951-8052 新潟市中央区下大川通4-7 敷2230番地3247大川前213
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ハ) 第3419号 tel. 025-228-0252
一級建築士 家186751号 上山 寛 fax. 025-228-0085

株式会社 環境デザイン研究所
〒106-0022 東京都港区六本木5丁目12番22号丸根ビル
一級建築士事務所 東京都知事登録 第9955号 tel. 03-5575-7171
一級建築士 家48156号 斎藤 徹 fax. 03-5575-7178

(株) 金箱構造設計事務所
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-12-14東京技術ビル6F
一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号
一級建築士 新122854号 金箱 浩等
tel. 03-5496-2921 fax. 03-5496-2922

(株) ホープ設備設計事務所
〒951-8035 新潟市中央区船場町1-2438-2
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ト) 第1376号
一級建築士 新16819号 折原 幸夫
tel. 025-228-7714 fax. 025-228-7713

新潟市建築部公共建築第1課

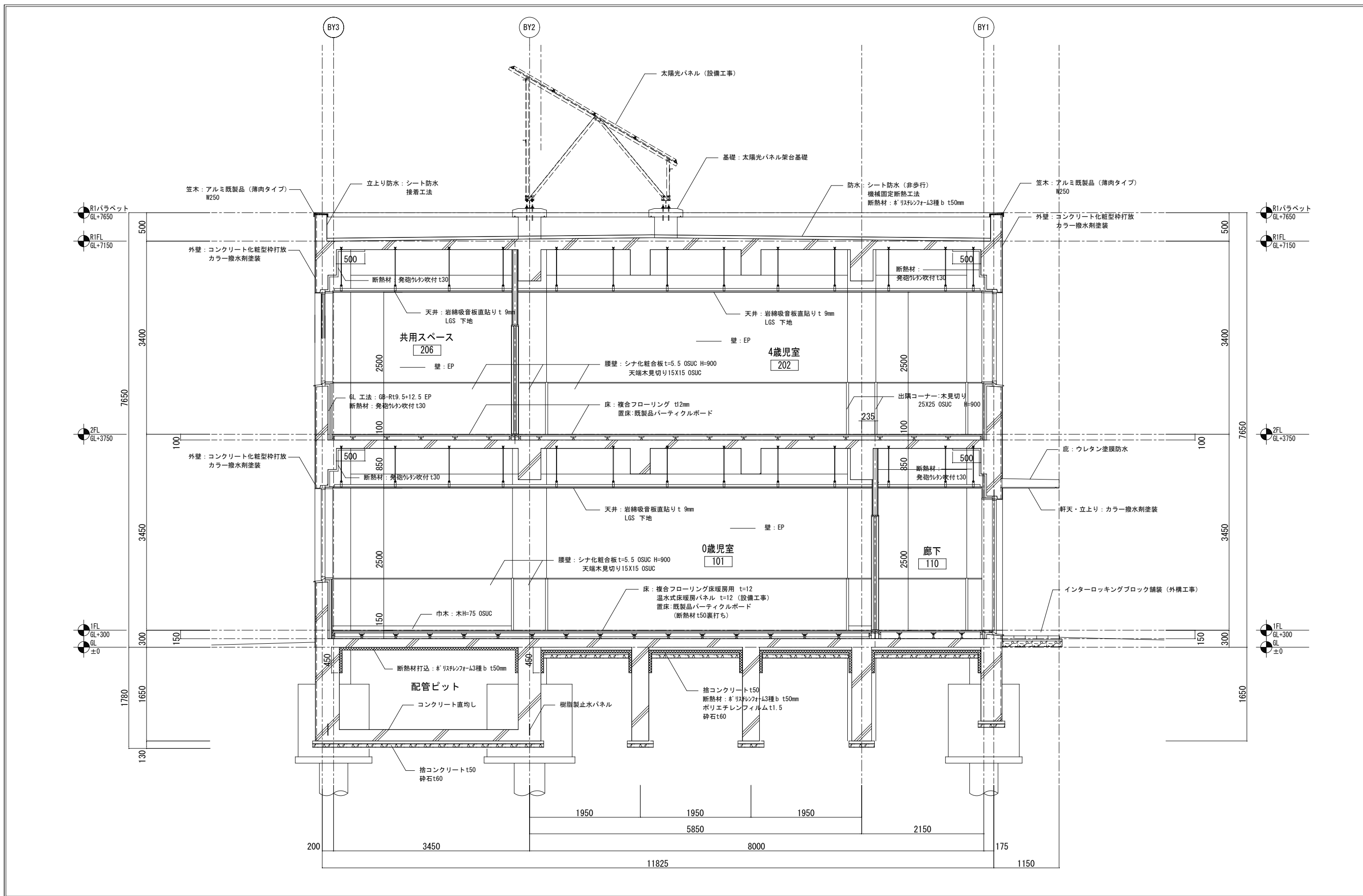
工事名

八千代保育園 改築工事

図名

1階平面詳細図 2

年月日	縮尺	図面番号	
2014.03.14	A1:1/50 A3:1/100	A-112	



環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

八千代保育園 改築工事

図名

矩計図

上山寛アトリエ
〒951-8052 新潟市中央区下大川通4ノ町222番地13(7大川町213)
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ハ) 第3419号 tel. 025-228-0252
一級建築士 第186751号 上山 寛 fax. 025-228-0085

株式会社 環境デザイン研究所
〒106-0032 東京都港区六本木5丁目12番22号永楽ビル
一級建築士事務所 東京都知事登録 第9955号 tel. 03-5575-7171
一級建築士 第48156号 高橋 寛 fax. 03-5575-7176

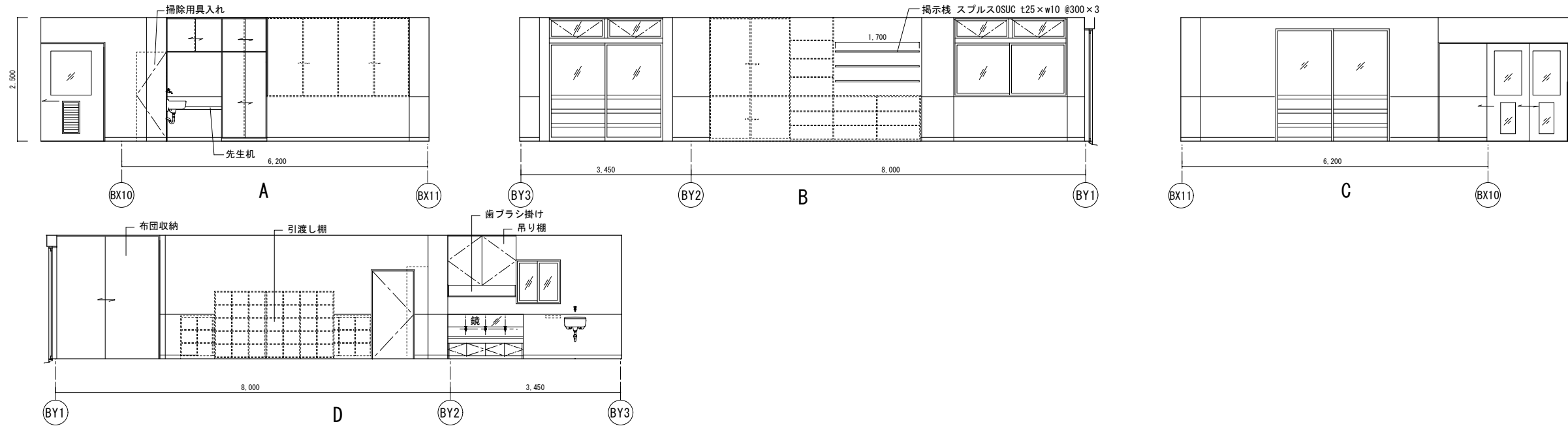
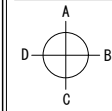
(株) 金箱構造設計事務所
〒141-0023 東京都品川区西五反田3-12-14東武ビル4F
一級建築士事務所 東京都知事登録 第35591号
一級建築士 第122854号 金箱 温幸
tel. 03-5496-2921 fax. 03-5496-2922

(株) ホープ設備設計事務所
〒951-8052 新潟市中央区船場町1-2430-2
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ト) 第13176号
一級建築士 第168519号 折原 孝史
tel. 025-228-7714 fax. 025-228-7713

年月日	縮尺	図面番号
2014.03.14	A1:1/30 A3:1/60	A-115

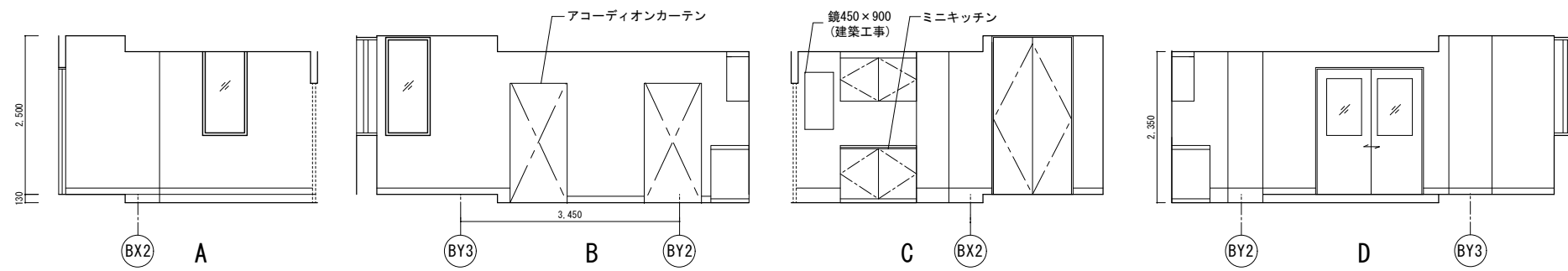
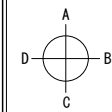
2歳児室

天井	化粧石膏ボード t9
壁	EP塗装 (FL>900)
腰壁	化粧シナ合板 OSUC (FL≦900)
巾木	木製OSUC H=75
床	複層フローリング t12



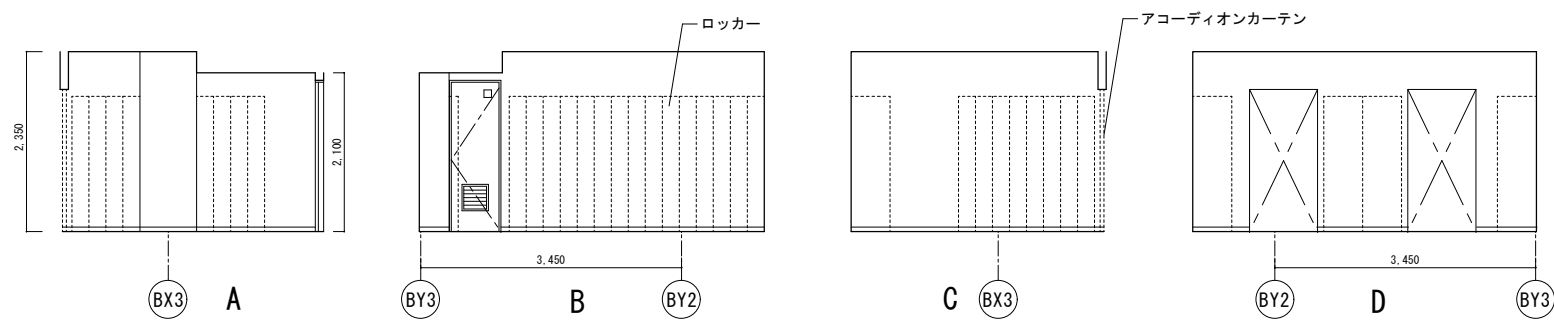
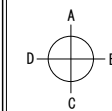
休憩室

天井	化粧石膏ボード t9
壁	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=100
床	長尺塩ビシート t2, 畳敷き



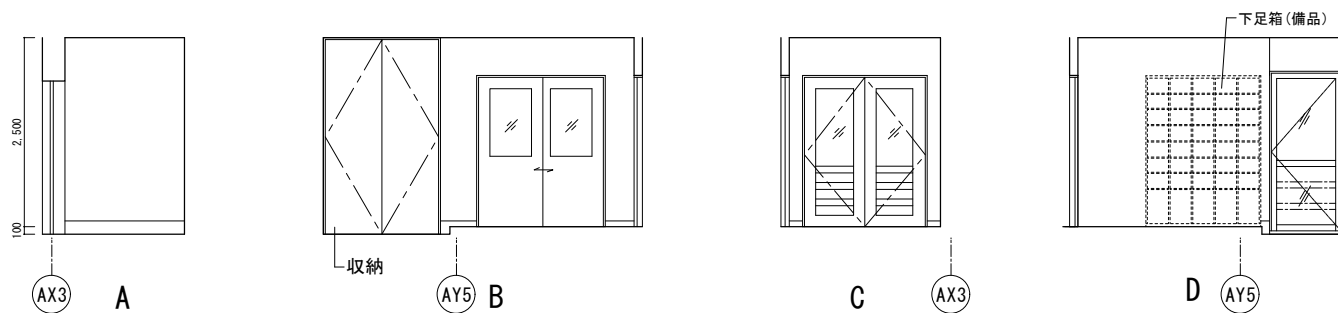
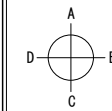
更衣室

天井	化粧石膏ボード t9
壁	EP塗装
巾木	ソフト巾木 H=100
床	長尺塩ビシート t2



職員玄関

天井	化粧石膏ボードt9
壁	EP塗装
巾木	100角タイル, ソフト巾木H=75
床	100角タイル, 長尺塩ビシートt2



環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

八千代保育園改築工事

図名

展開図2(1階)

上山アトリエ
〒951-8502 新潟市中央区下大井4-1-10(220番地)7F(大井ビル)
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (〒) 第3419号 tel. 025-228-0252
一級建築士 第186751号 土山 寛 fax. 025-228-0065

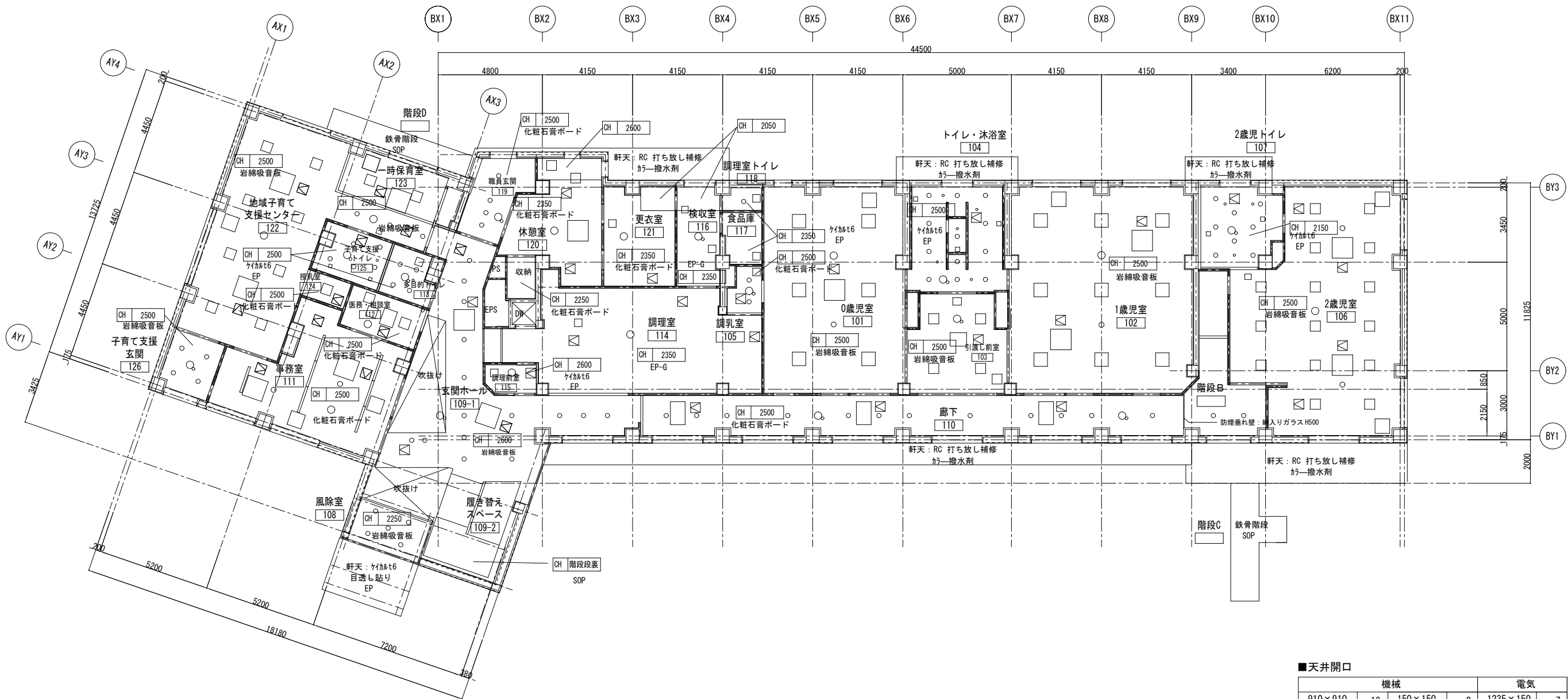


株式会社 環境デザイン研究所
〒106-0002 東京都港区六本木5丁目12番02号本館6F
一級建築士事務所 東京都知事登録 第9355号 tel. 03-5575-7171
一級建築士 第481154号 斎藤 暁 fax. 03-5575-7178

(株) 金箱構造設計事務所
〒141-0031 東京都品川区西品川5-12-14(東品川ビル)6F
一級建築士事務所 東京都知事登録 第20519号
一級建築士 第123514号 倉根 浩希 tel. 03-5496-2921 fax. 03-5496-2922

(株) ホープ設備設計事務所
〒951-8028 新潟市中央区南保町1-243B-2
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (〒) 第12174号
一級建築士 第168519号 新野 孝史 tel. 025-228-7714 fax. 025-228-7713

年月日	縮尺	図面番号	A-117
2014.03.20	A1:1/50, A3:1/100		



■天井開口

		機械		電気	
910×910	13	150×150	2	1235×150	7
1020×640	3	200×200	6	600×600	15
730×590	2	300×250	1	450×450	33
400×400	3	300×300	1	200φ	23
600×560	8	400×350	1	150φ	20
300×300	8			100φ	74
天井点検口					
□	450×450	35	⊠	600×600	0

環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

八千代保育園 改築工事

図名

1階天井伏図

上山寛アトリエ
〒951-8952 新潟市中央区下大川通4丁目22番地133-17大川前ビル
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ハ) 第3419号 tel. 025-228-0252
二級建築士 第186751号 上山 寛 fax. 025-228-0085



株式会社 環境デザイン研究所
〒108-0022 東京都港区六本木3丁目12番2号永栄ビル
一級建築士事務所 東京都知事登録 第9955号 tel. 03-5575-7171
一級建築士 第48156号 奥藤 貴 fax. 03-5575-7178

(株) 金箱構造設計事務所
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-12-14東京技術ビル4F
一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号
一級建築士 第122854号 金箱 浩希 tel. 03-5499-2921 fax. 03-5499-2922

(株) ホープ設備設計事務所
〒951-8023 新潟県新潟市中央区船場1-2438-2
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ト) 第1376号
一級建築士 第188519号 折原 卓夫 tel. 025-228-7714 fax. 025-228-7713

年月日
2014.03.14

縮尺
A1:1/100 A3:1/200

図面番号

A-123

記号・数量	AM 32 × 1	AM 33 AM 34 × 1	AM 36 × 2	AM 37 × 1	AM 38 × 1
形状					
場所	(201) 3歳児室	階段B	(114) 調理室	(114) 調理室	(114) 調理室
形式	引き違い窓	引き違い窓+FIX窓	引き違い窓	引き違い窓	引き違い窓
建具	サッシ見込み: 70 / 木枠見付け: 25, 見込み: 130	サッシ見込み: 70 / 木枠見付け: 25, 見込み: 80	サッシ見込み: 70 / 木枠見付け: 25, 見込み: 55	サッシ見込み: 70 / 木枠見付け: 25, 見込み: 55	サッシ見込み: 70
材質・仕上	アルミ製 ステンカラー	アルミ製 ステンカラー	アルミ製 ステンカラー	アルミ製 ステンカラー、障子のみ指定色焼付塗装	アルミ製 ステンカラー
硝子	TP	①、TP (掃出し)	T5	T5	T5
金物	戸車、クレセント、指詰め防止、網戸、フット枠、開口制御他付属金物一式	戸車、クレセント、指詰め防止、網戸、フット枠、開口制御他付属金物一式	戸車、サムターン、指詰め防止他付属金物一式	戸車、シリンダー錠、指詰め防止他付属金物一式	戸車、サムターン、指詰め防止他付属金物一式
備考	木製額縁OSUC、飛散防止フィルム	木製額縁OSUC、飛散防止フィルム	木製額縁OSUC、飛散防止フィルム	木製額縁OSUC、飛散防止フィルム	木製額縁OSUC、飛散防止フィルム
記号・数量					
形状					
場所					
形式					
建具					
材質・仕上					
硝子					
金物					
備考					
記号・数量	AM 8 × 1		AD 1 × 1		AD 2 × 1
形状					
場所	(109-1) 玄関ホール		(109-1) 玄関ホール、(109-2) 履き替えスペース		(115) 調理前室
形式	FIX+突出し窓		引き分け戸+FIX窓		片開き
建具	見込み:-		サッシ見込み: 70		サッシ見込み: 130
材質・仕上	アルミ製 ステンカラー		アルミ製 ステンカラー SOP		アルミ製 ステンカラー
硝子	①		①、TP (掃出し)		TP
金物	網戸、開口制御、排煙オペレータ×2		戸車、シリンダー錠、指詰め防止、フット枠、開口制御他付属金物一式		レバーハンドル、サムターン、ドアクローザー他付属金物一式
備考	飛散防止フィルム		飛散防止フィルム		飛散防止フィルム、ガラリ開口率35%
記号・数量			AD 3 × 1	AD 6 × 1	特記
形状					ガラス凡例 ①: FL5+A6+FL5 TP:強化ガラス ②: FL5+A6+FL5 T5: FL5 ③: LOW-E5+A6+FL5 ④: NP6.8+A6+FL5 ※鍵、排煙オペレータの取付高さはH1500とする ※建具記号の時は特定防火設備、防は防火設備を示す。
場所	(109-1) 玄関ホール		(114) 調理室	(119) 職員玄関	
形式	FIX+突出し窓		片開き	片開き	
建具	見込み:-		サッシ見込み: 130	サッシ見込み: 70 / 木枠見付け: 25, 見込み: 130	
材質・仕上	アルミ製 ステンカラー		アルミ製 ステンカラー	アルミ製 ステンカラー	
硝子	①		T5	TP	
金物	網戸、開口制御、排煙オペレータ×2		レバーハンドル、サムターン、ドアクローザー他付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、ドアクローザー水切、他付属金物一式	
備考	飛散防止フィルム		木製額縁OSUC、飛散防止フィルム、ガラリ開口率35%	木製額縁OSUC、飛散防止フィルム	

環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

八千代保育園 改築工事

図名

鋼製建具リスト2

上山寛アトリエ
〒951-8052 新潟市中央区下大川通4-1/東2230番地1247大川前213
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ハ) 第3419号 tel. 025-228-0252
一級建築士 家186751号 上山 寛 fax. 025-228-0085

株式会社 環境デザイン研究所
〒106-0002 東京都港区六本木5丁目12番2号丸根ビル
一級建築士事務所 東京都知事登録 第9955号 tel. 03-5575-7171
一級建築士 家48156号 斎藤 徹 fax. 03-5575-7178

(株) 金箱構造設計事務所
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-12-14東京技術ビル 8F
一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号
一級建築士 家122854号 金箱 浩希 tel. 03-5496-2921 fax. 03-5496-2922

(株) ホープ設備設計事務所
〒951-8035 新潟市中央区和光町1-2438-2
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ト) 第1376号
一級建築士 家16819号 折原 幸求 tel. 025-228-7714 fax. 025-228-7713

年月日 2014.03.14 縮尺 図面番号 - A-135

記号・数量	AG1 ×1	AG2 ×1			
形状					
場所	1F厨房外壁	屋上階ハト小屋			
形式	固定ガラス	固定ガラス			
建具枠	サッシ見込み: 70	サッシ見込み: 70			
材質・仕上	アクリル焼付塗装	アクリル焼付塗装			
硝子	-	-			
金物	設備ダクト取り付け用アングル: SUS304(絶縁処理)、他付属金物一式	設備ダクト取り付け用アングル: SUS304(絶縁処理)、他付属金物一式			
備考	防虫金網: SUS304、有効開口: 0.6㎡以上	防虫金網: SUS304、有効開口: 0.8㎡以上			
記号・数量	AD11 ×1	AD12 ×1	AD13 ×1	AD14 ×1	AD15 ×1
形状					
場所	(109-1) 玄関ホール	(126) 子育て支援玄関	(116) 検収室	(211) 屋外倉庫	(210) 遊戯室
形式	押しボタン式自動引き分けドア	片引き戸+FIX窓	親子開	片開き	片開き
建具枠	サッシ見込み: 70 / 木枠見付け: 25、見込み: 130	サッシ見込み: 70 / 木枠見付け: 25、見込み: 180	サッシ見込み: 70 / 木枠見付け: 25、見込み: 130	サッシ見込み: 130	サッシ見込み: 70 / 木枠見付け: 25、見込み: 130
材質・仕上	アルミ製 ステンカラー、障子のみ指定色焼付塗装	アルミ製 ステンカラー、障子のみ指定色焼付塗装	アクリル焼付塗装	アクリル焼付塗装	アクリル焼付塗装
硝子	③(嵌め殺し部)、TP(掃出し部)	TP	①	①	-
金物	シリンダー錠、電気錠、無目埋込型センサー、補助センサー、パニックオープン、他付属金物一式	戸車、クレセント、指詰め防止、網戸、フタ枠、開口制御、他付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、フランス落とし、他付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、フランス落とし、他付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、他付属金物一式
備考	木製額縁OSUC、飛散防止フィルム、防護スクリーン	木製額縁OSUC、飛散防止フィルム	木製額縁OSUC、飛散防止フィルム	木製額縁OSUC、飛散防止フィルム	木製額縁OSUC
記号・数量	SD1				
形状					
場所	DWシャフト				
形式	片開き戸				
建具枠	サッシ見込み: 70				
材質・仕上	スチールSOP				
硝子	-				
金物	点検錠、蝶番、他付属金物一式				
備考					
記号・数量					特記
形状					<p>ガラス凡例</p> <p>①: FL5+A6+FL5 TP:強化ガラス</p> <p>②: FL5+A6+FL5 T5:FL5</p> <p>③: LOW-E5+A6+FL5</p> <p>④: NP6.8+A6+FL5</p> <p>※鍵、排煙ハッチの取付高さはH1500とする</p> <p>※建具記号の特は特定防火設備、防は防火設備を示す。</p>
場所					
形式					
建具枠					
材質・仕上					
硝子					
金物					
備考					

環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

上山寛アトリエ
〒661-8052 新潟市中央区下大川通4-1番2230番地1247大川町213
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ハ) 第3419号 tel. 025-228-0252
一級建築士 第166751号 上山 寛 fax. 025-228-0085



株式会社 環境デザイン研究所
〒106-0032 東京都港区六本木5丁目12番2号永規ビル
一級建築士事務所 東京都知事登録 第9955号 tel. 03-5575-7171
一級建築士 第48156号 齋藤 貴 fax. 03-5575-7178

(株) 金箱構造設計事務所
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-12-14東豊ビル14F
一級建築士事務所 東京都知事登録 第34591号
一級建築士 第122854号 金箱 温希
tel. 03-5496-2921 fax. 03-5496-2922

(株) ホープ設備設計事務所
〒661-8058 新潟市中央区船場町1-248-2
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ト) 第1376号
一級建築士 第168519号 荻原 幸夫
tel. 025-228-7714 fax. 025-228-7713

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

八千代保育園 改築工事

図名

保育園 鋼製建具リスト3

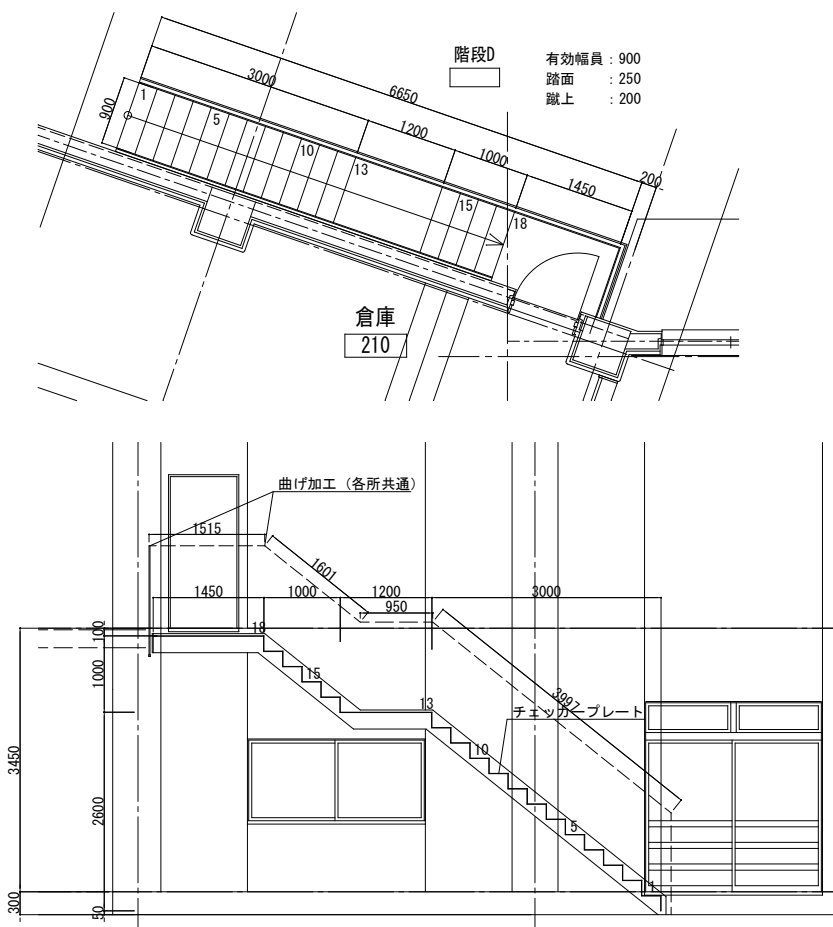
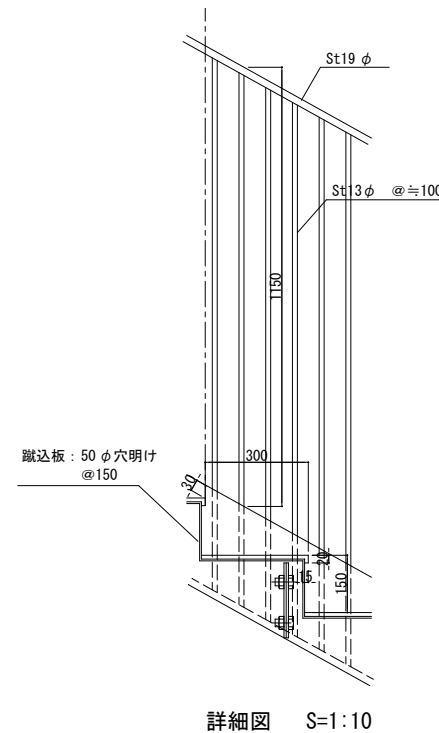
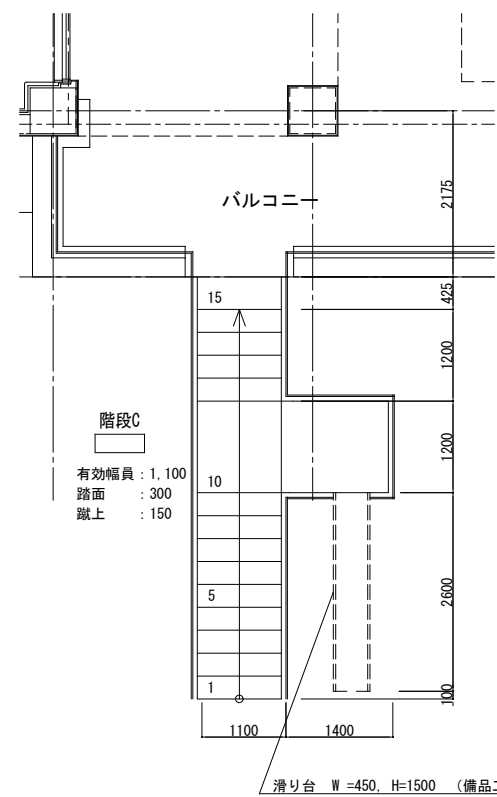
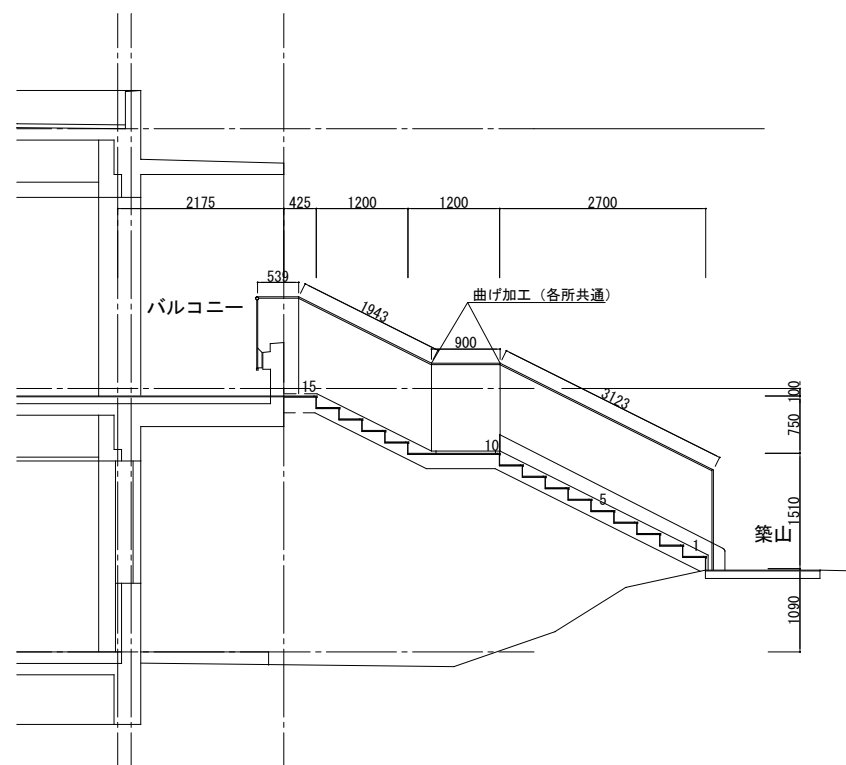
年月日

2014.03.14

縮尺

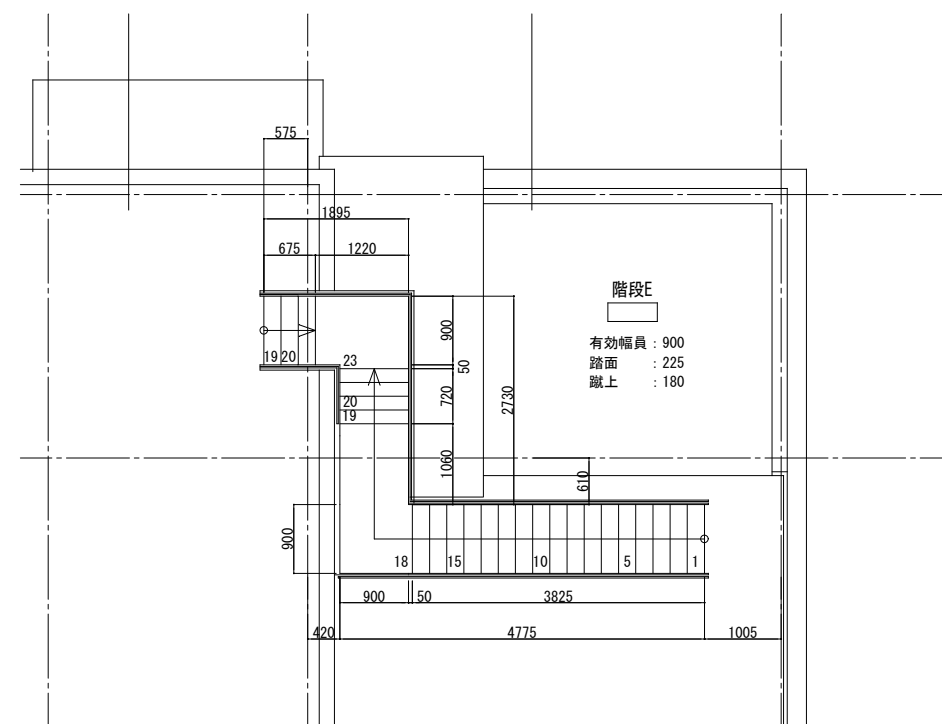
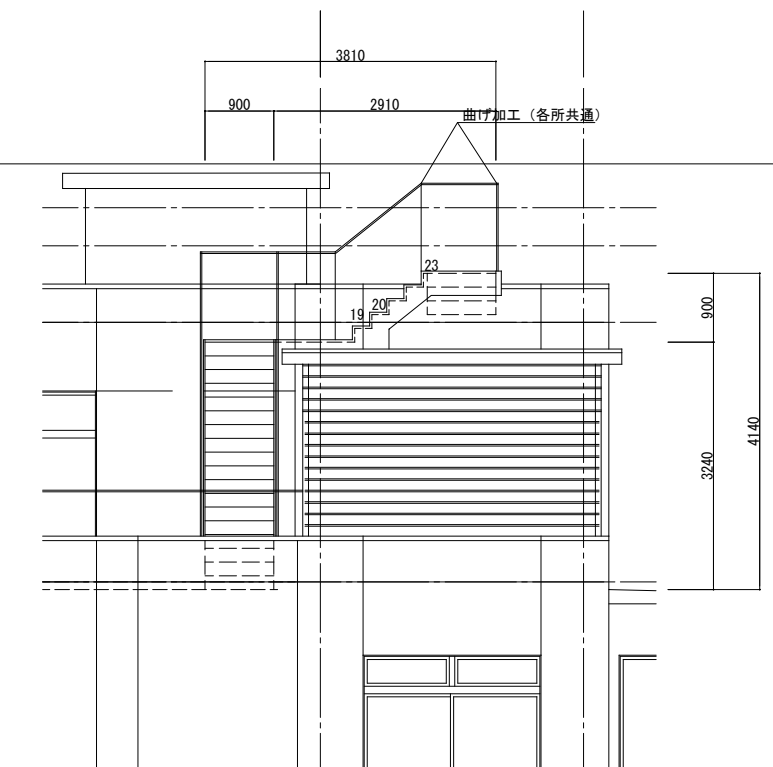
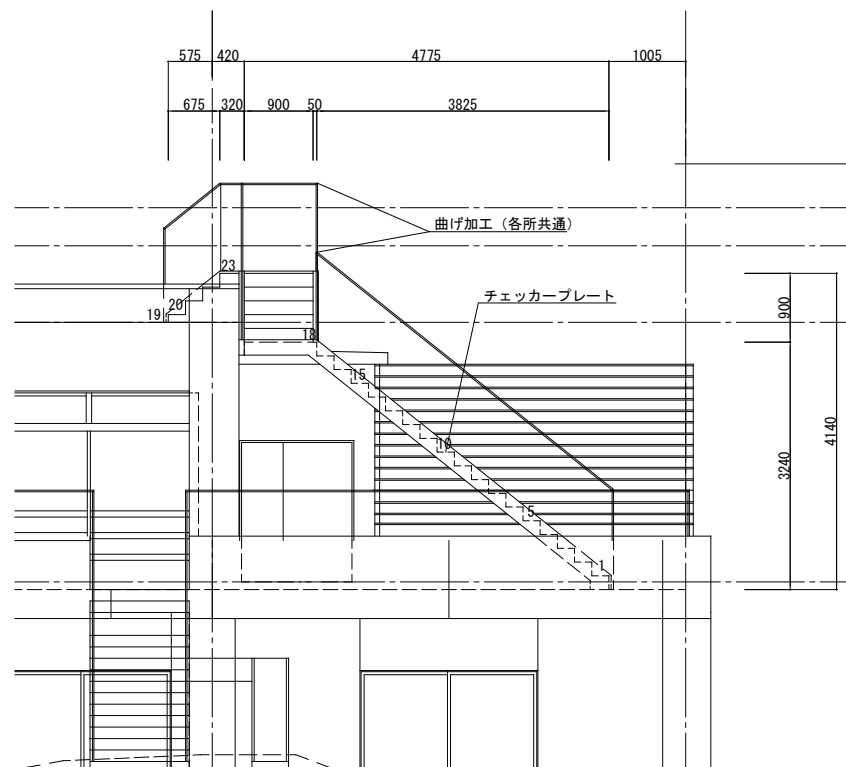
図面番号

A-136



階段C

階段D



階段E

環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

八千代保育園 改築工事

図名

階段詳細図2

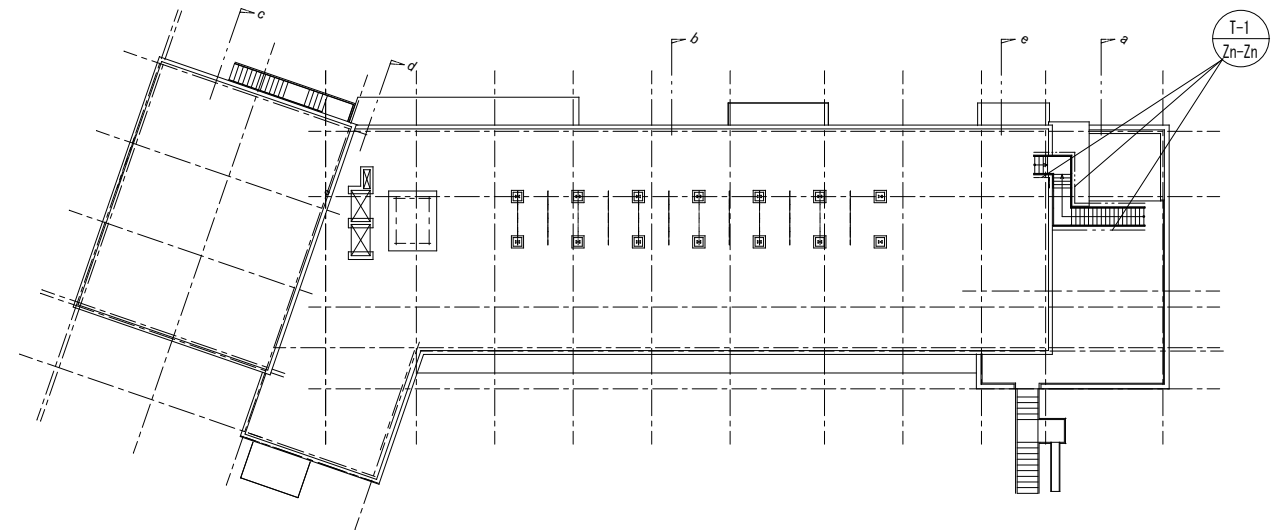
上山アトリエ
〒951-8052 新潟市中央区下大川通4-7-1 223番地1317大川前213
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ハ) 第3419号 tel. 025-228-0252
一級建築士 家186751号 上山 寛 fax. 025-228-0085

株式会社 環境デザイン研究所
〒106-0022 東京都港区六本木5丁目12番2号丸根ビル
一級建築士事務所 東京都知事登録 第9955号 tel. 03-5575-7171
一級建築士 家48154号 斎藤 徹 fax. 03-5575-7178

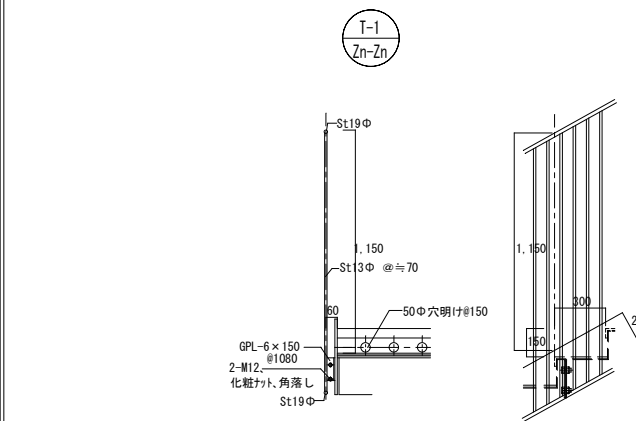
(株) 金箱構造設計事務所
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-12-14 東京技術ビル 4F
一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号
一級建築士 家122854号 金箱 誠等 tel. 03-5496-2921
一級建築士 家48154号 斎藤 徹 fax. 03-5496-2922

(株) ホープ設備設計事務所
〒951-8035 新潟市中央区船場町1-2438-2
一級建築士事務所 新潟県知事登録 第36591号
一級建築士 家18619号 折原 幸求 tel. 025-228-7714
一級建築士 家48154号 斎藤 徹 fax. 025-228-7713

年月日 2014.03.14 縮尺 A1:1/50 A3:1/100 図面番号 A-142

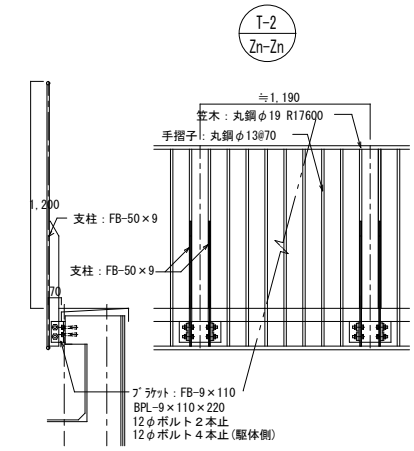


手摺 屋上階キープラン



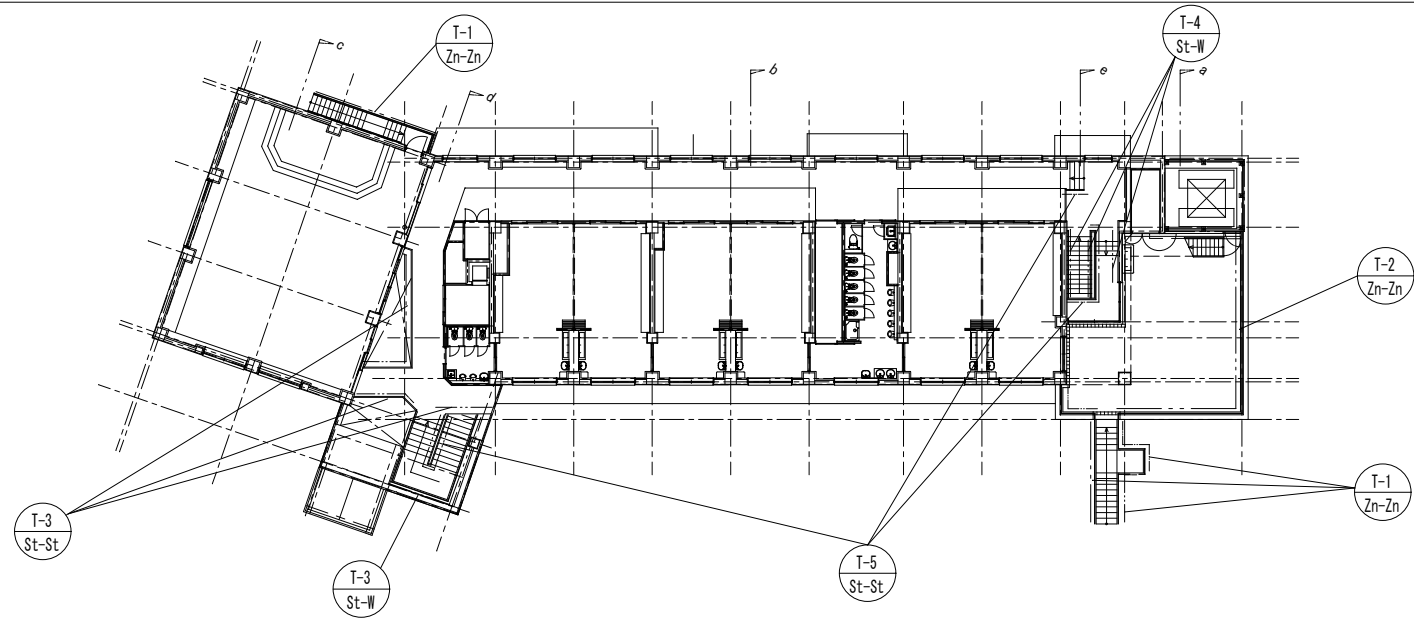
T-1 手摺詳細A

S=1 : 20

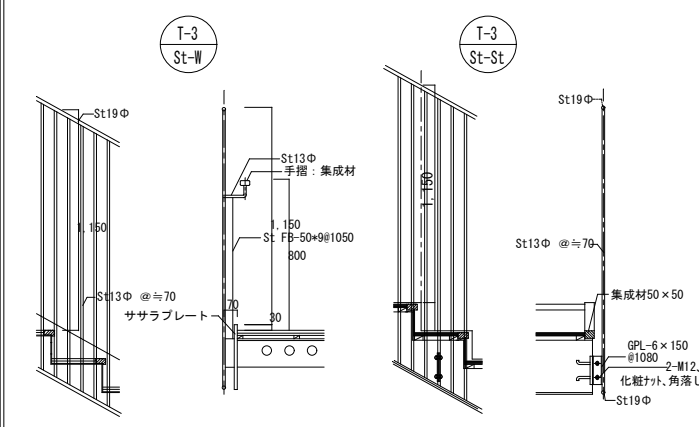


T-2 手摺詳細B

S=1 : 20



手摺 2階キープラン

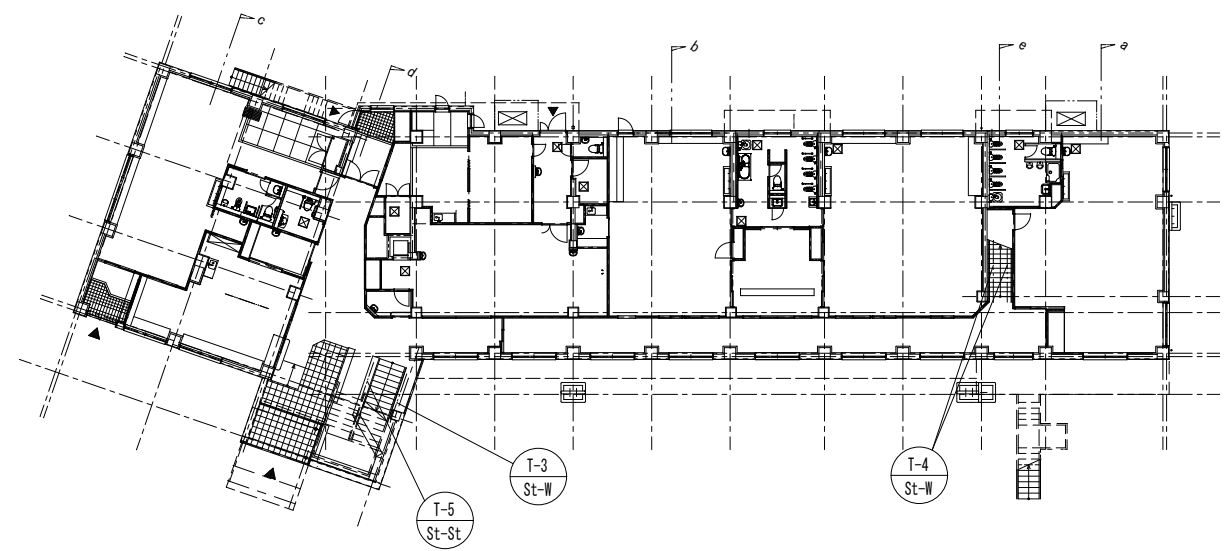


T-3 手摺詳細C

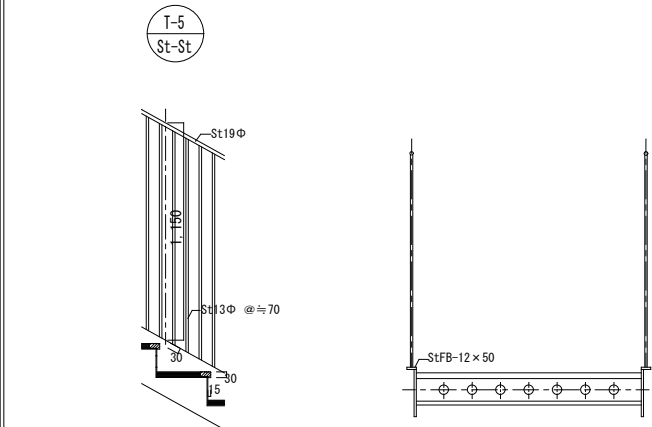
S=1 : 20

T-4 手摺詳細D

S=1 : 10



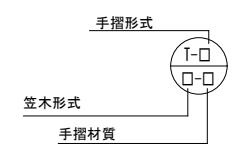
手摺 1階キープラン



T-5 手摺詳細E

S=1 : 20

手摺キー凡例



材質：凡例

- W : 杉集成材+自然塗料
- St : スチール+錆び止め塗装+EP-G塗装
- Zn : スチール+溶融亜鉛メッキ+フッ素樹脂塗装
- Sus : ステンレスHL
- A : アルミ ステンカラー

環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

<p>上山寛アトリエ</p> <p>〒951-8552 新潟市中央区平井町2丁目22番地11577大川第213</p> <p>一級建築士事務所 新潟県知事登録 (A) 第3419号 tel. 025-228-0252</p> <p>一級建築士 第18675号 上山 寛 fax. 025-228-0085</p>	<p>株式会社 環境デザイン研究所</p> <p>〒199-0202 東京都港区六本木5丁目12番22号永楽ビル</p> <p>一級建築士事務所 東京都知事登録 第9955号 tel. 03-5575-7171</p> <p>二級建築士 第48156号 斎藤 貴 fax. 03-5575-7178</p>	<p>(株) 金箱構造設計事務所</p> <p>〒141-0001 東京都品川区西五反田3-12-14東豊ビル407</p> <p>一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号</p> <p>一級建築士 第122854号 金箱 浩希</p> <p>tel. 03-5496-2921 fax. 03-5496-2922</p>	<p>(株) ホープ設備設計事務所</p> <p>〒951-8035 新潟市中央区船場町1-2438-2</p> <p>一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ト) 第1376号</p> <p>一級建築士 第16819号 折原 寿典</p> <p>tel. 025-228-7714 fax. 025-228-7713</p>
--	---	---	---

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

八千代保育園 改築工事

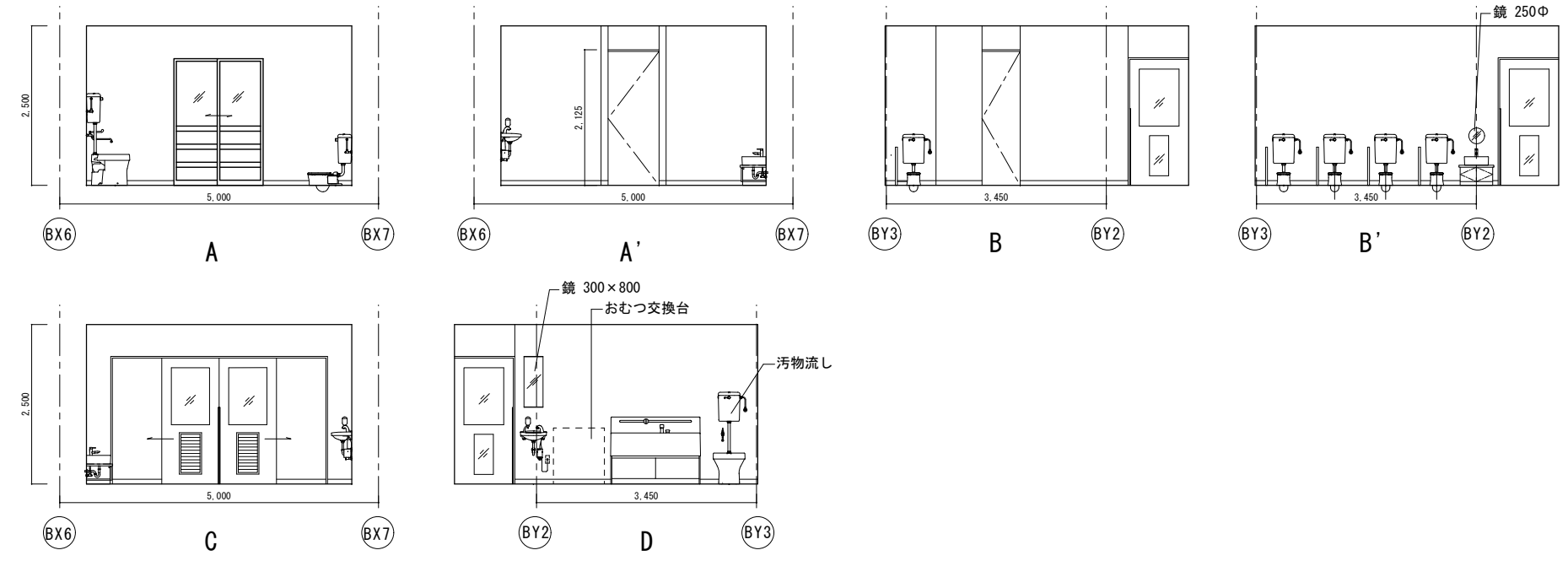
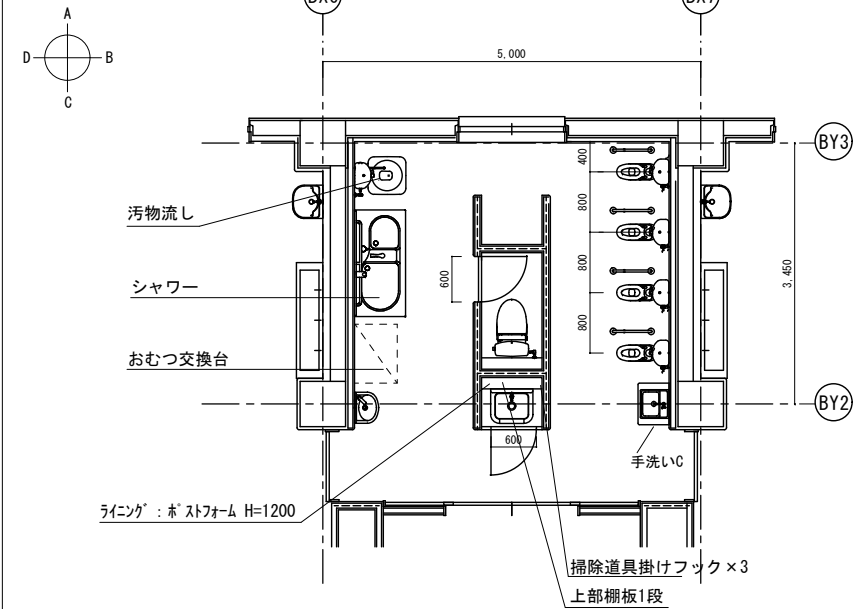
図名

手摺キープラン・手摺詳細図

年月日	縮尺	図面番号	A-143
2014.03.14	A1:1/200 A3:1/400		

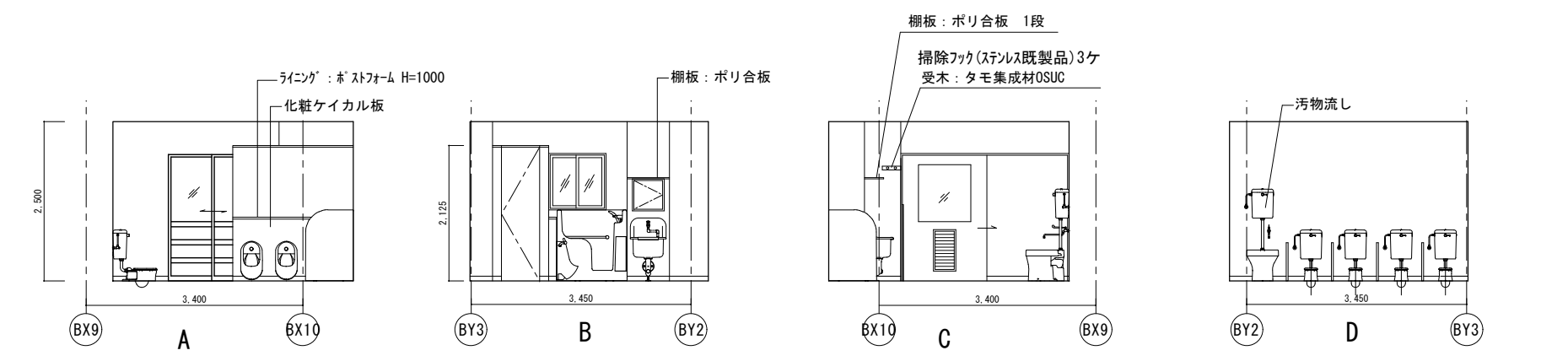
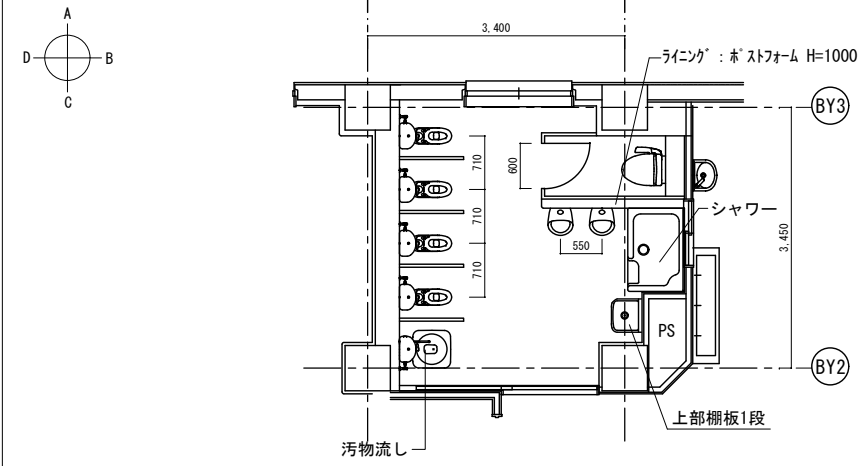
トイレ・沐浴室

天井	化粧石膏ボード t9
壁	EP塗装
巾木	ソフト H=75
床	長尺塩ビシート



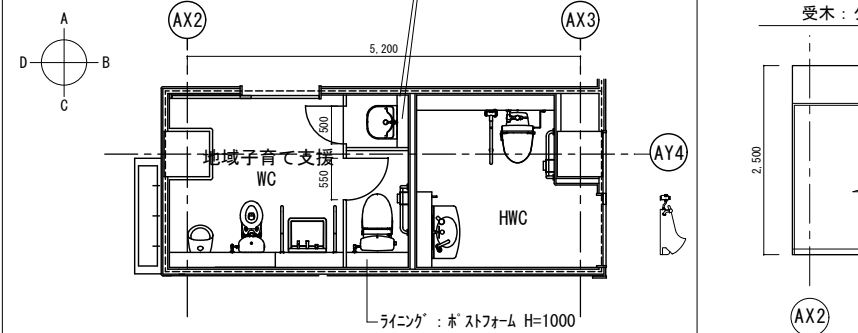
2歳児トイレ

天井	化粧石膏ボード t9
壁	EP塗装
巾木	ソフト H=75
床	長尺塩ビシート

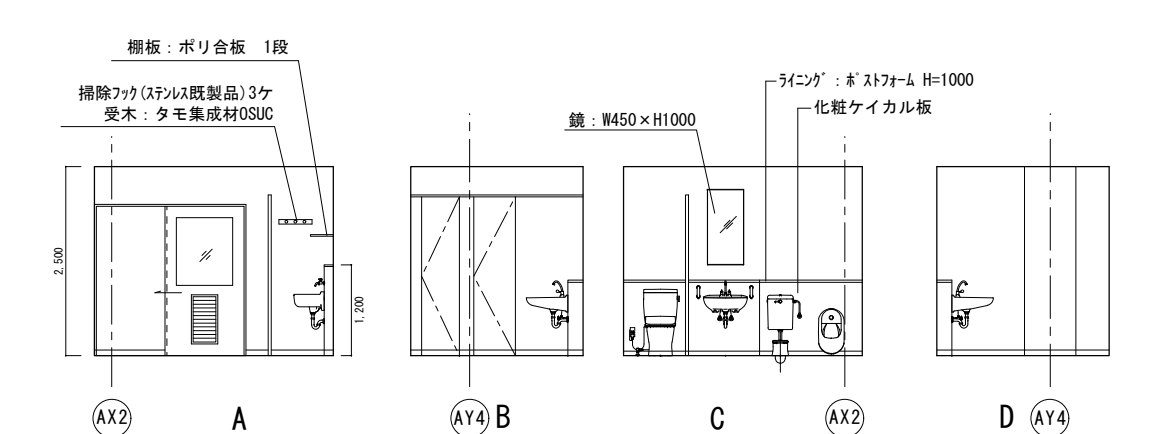


地域子育て支援トイレ、多目的トイレ

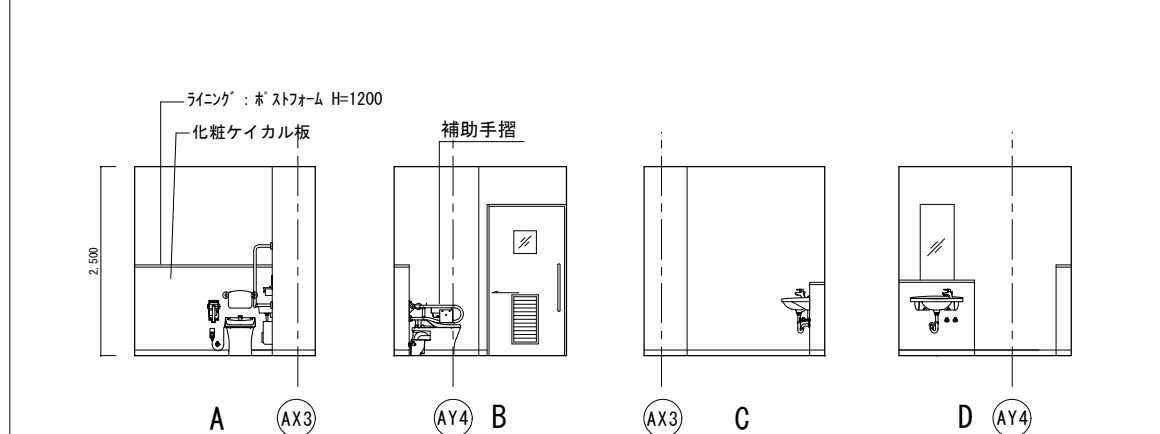
天井	化粧石膏ボード t9
壁	EP塗装
巾木	ソフト H=75
床	長尺塩ビシート



地域子育て支援WC



HWC



環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

上山寛アトリエ
〒981-8002 新潟市中央区東山1-1-1 電話: 025-228-0252
一級建築士事務所 新潟県建築士会 第1691号 法人 第1691号
一級建築士 第1691号 上山 寛 fax: 025-228-0085



株式会社 環境デザイン研究所
〒106-0032 東京都港区六本木7丁目12番2号 602号
一級建築士事務所 東京都建築士会 第985号 法人 第985号
一級建築士 第4116号 藤原 隆 fax: 03-5575-7178

(株) 金箱構造設計事務所
〒141-0031 東京都葛飾区新小岩2-12-14 東京葛飾ビル
一級建築士事務所 東京都建築士会 第2691号
一級建築士 第12264号 佐藤 浩平
tel: 03-5496-2921 fax: 03-5496-2922

(株) ホープ設備設計事務所
〒951-8020 新潟市中央区東山1-1-1 電話: 025-228-7714
一級建築士事務所 新潟県建築士会 第1776号
一級建築士 第1691号 岩手 幸夫
tel: 025-228-7714 fax: 025-228-7713

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

八千代保育園改築工事

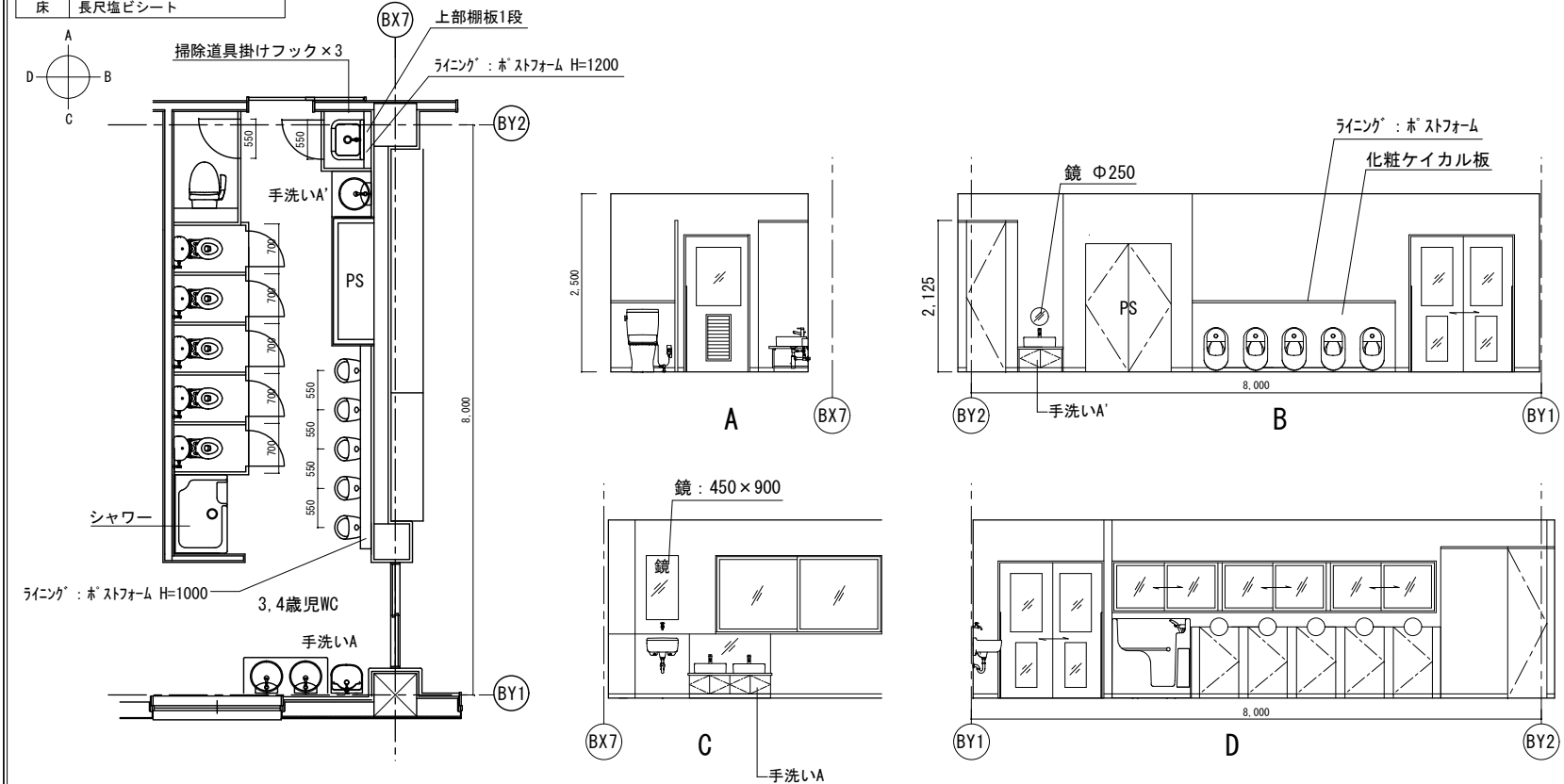
図名

トイレ詳細図1

年月日	2014.03.14	縮尺	A1:1/50, A3:1/100	図面番号	A-145
-----	------------	----	-------------------	------	-------

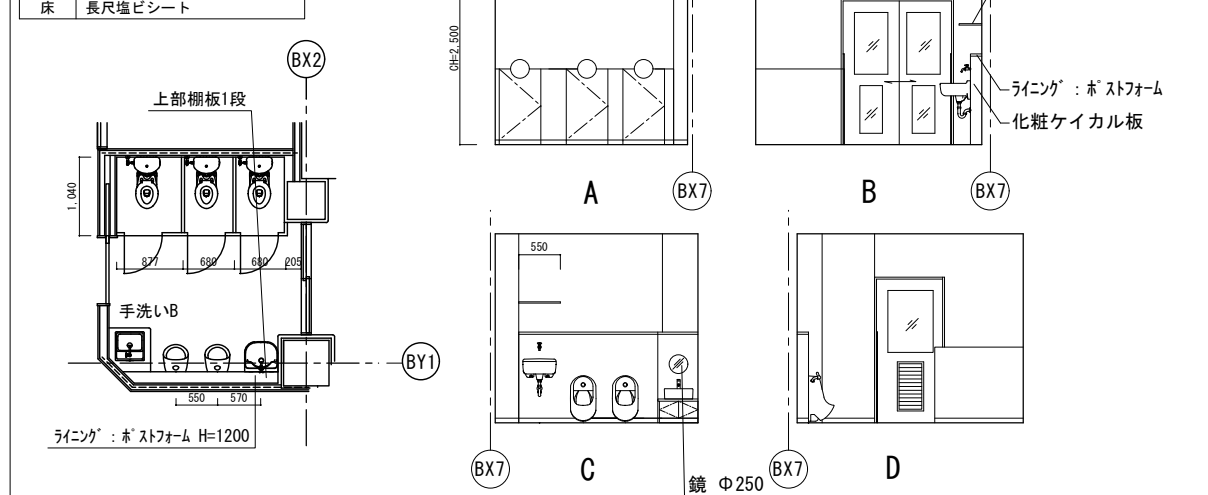
3,4歳児トイレ

天井	化粧石膏ボード t9
壁	EP塗装
巾木	ソフト H=75
床	長尺塩ビシート



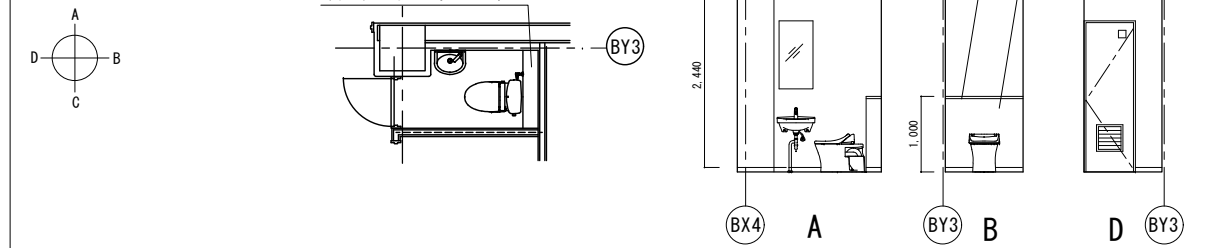
5歳児トイレ

天井	化粧石膏ボード t9
壁	EP塗装
巾木	ソフト H=75
床	長尺塩ビシート

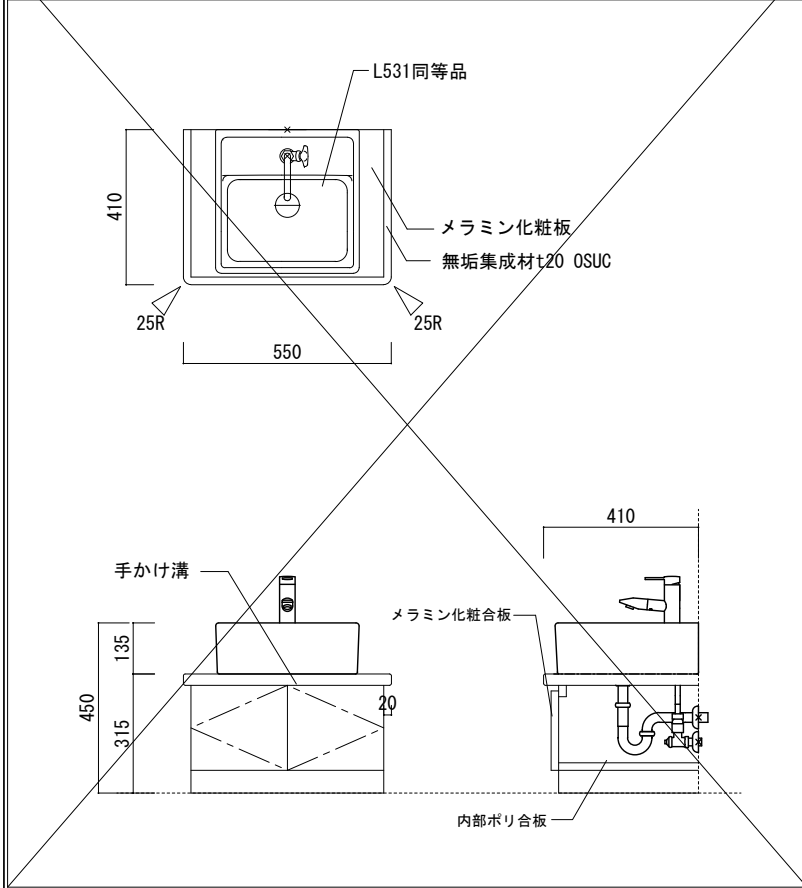


調理室トイレ

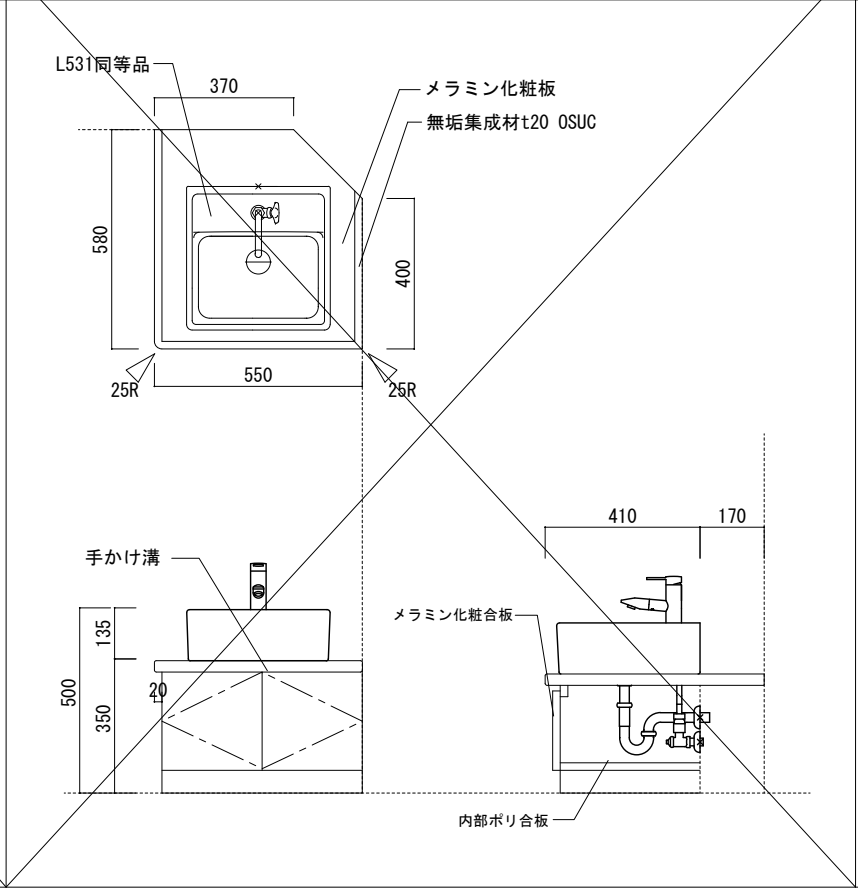
天井	化粧石膏ボード t9
壁	EP塗装
巾木	ソフト H=75
床	長尺塩ビシート



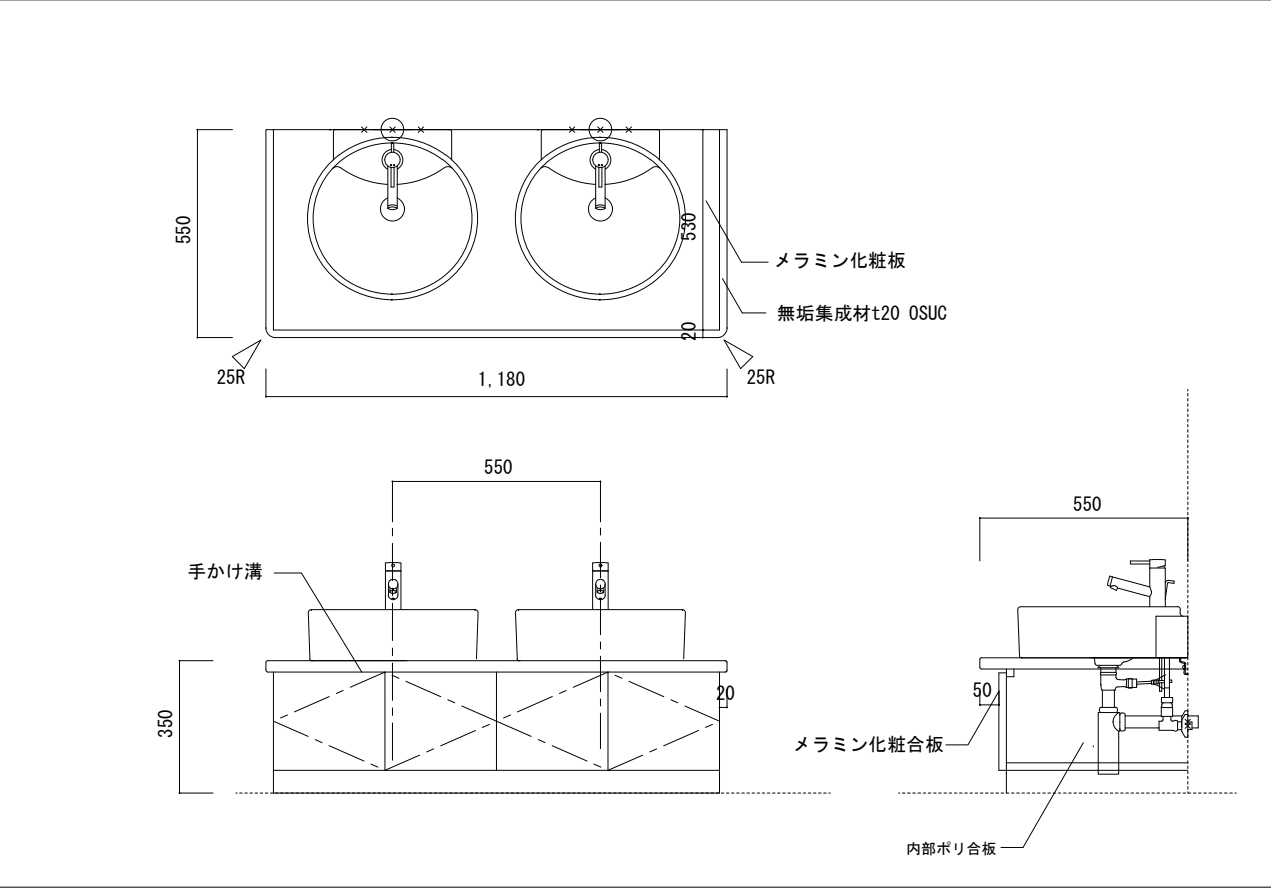
手洗いC詳細図 ×1箇所 (トイレ・沐浴) A3=1:20, A1=1:10



手洗いB詳細図 ×1箇所 (5歳児トイレ) A3=1:20, A1=1:10



手洗いA詳細図 ×1箇所 (3,4歳児トイレ) A3=1:20, A1=1:10



環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

新潟市建築部公共建築第1課

工事名 八千代保育園改築工事

図名 トイレ詳細図2

上山寛アトリエ
〒951-8002 新潟市中央区下大川通1丁目22番地1317大川ビル313
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ハ) 第3419号 tel: 025-228-0252
一級建築士 第18151号 上山 寛 fax: 025-228-0065

株式会社 環境デザイン研究所
〒106-0022 東京都港区赤坂5丁目7番12号赤坂ビル606
一級建築士事務所 新潟県知事登録 第9955号 tel: 03-5575-7171
一級建築士 第4115号 宮原 徹 fax: 03-5575-7170

(株) 金箱構造設計事務所
〒141-0001 東京都品川区東品川3丁目12-14東品川ビル607
一級建築士事務所 東京都知事登録 第35591号
一級建築士 第122854号 金箱 浩志 tel: 03-5486-2921
一級建築士 第4115号 宮原 徹 fax: 03-5486-2922

(株) ホープ設備設計事務所
〒951-8002 新潟市中央区大工町2丁目14番地1409-2
一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ハ) 第1216号
一級建築士 第18819号 野澤 幸彦 tel: 025-228-7714
一級建築士 第4115号 宮原 徹 fax: 025-228-7713

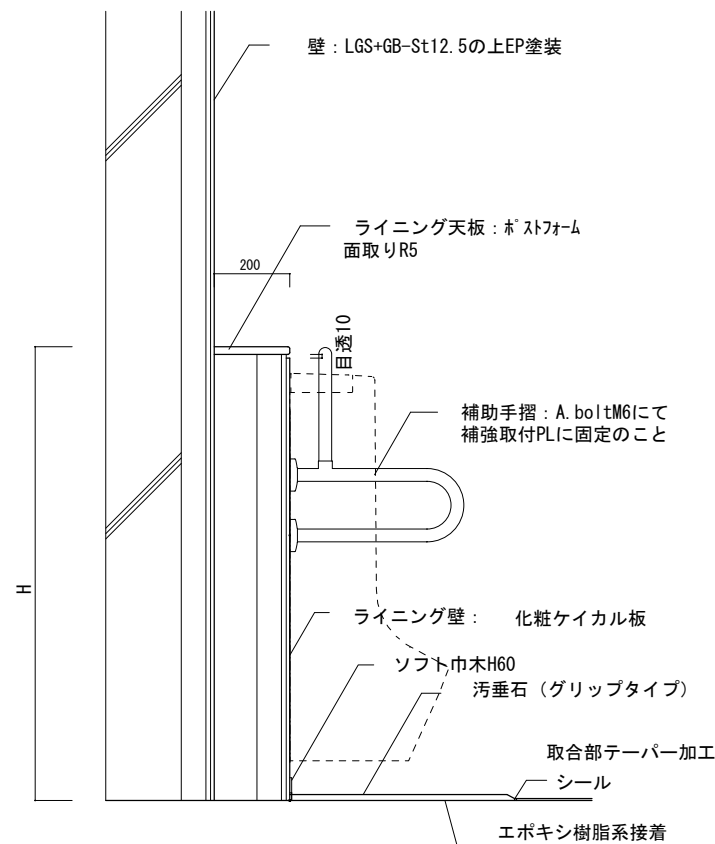
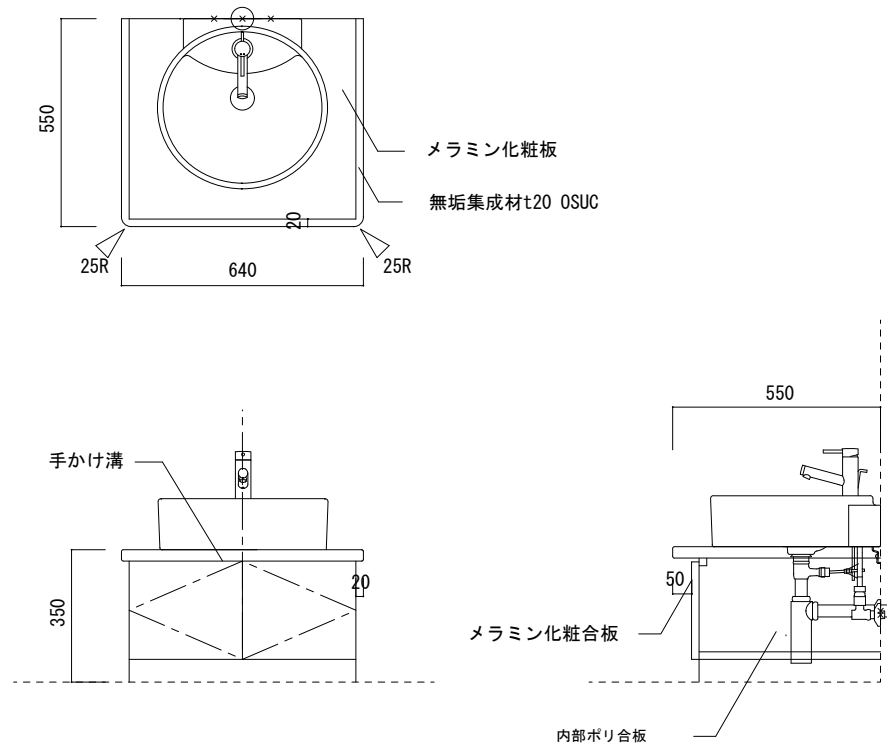
年月日	2014.03.14	縮尺	A1:1/50, A3:1/100	図面番号	A-146
-----	------------	----	-------------------	------	-------

手洗いA'詳細図 ×1箇所

A3=1:20, A1=1:10

ライニング・汚垂石詳細図

A3=1:20, A1=1:10



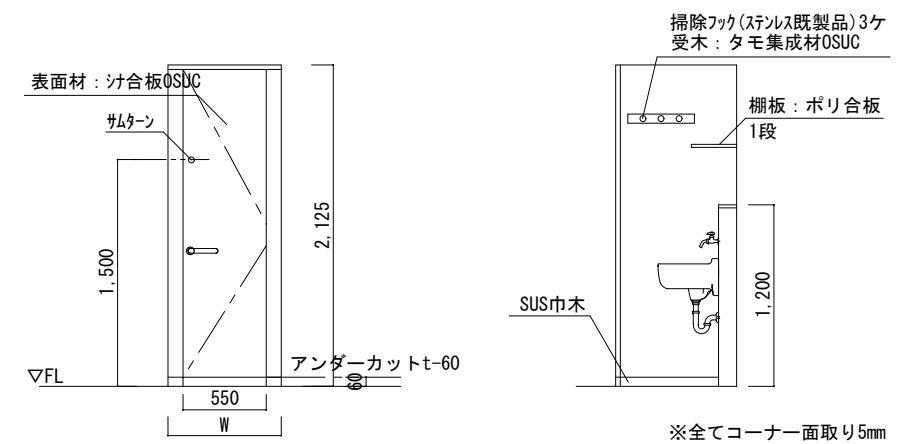
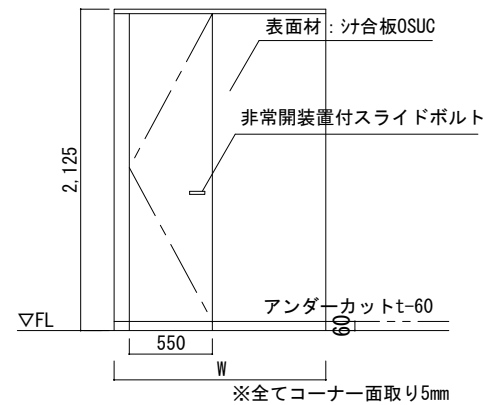
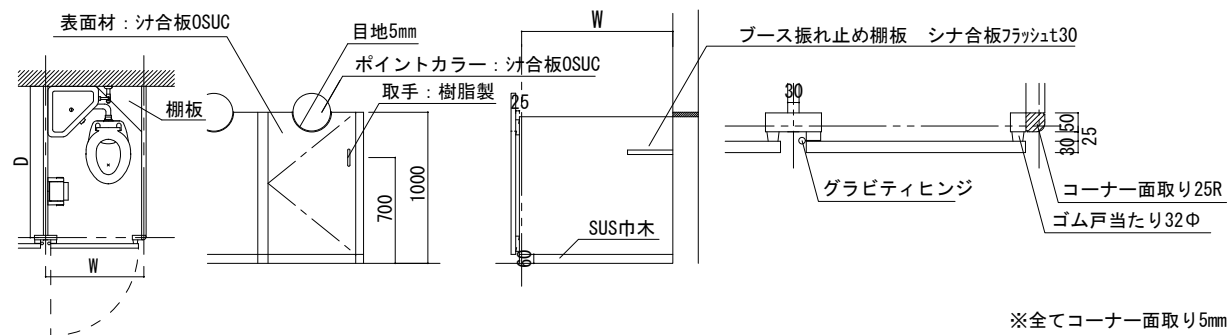
幼児用便所ブース標準詳細

A3=1:50, A1=1:25

大人用便所ブース

SK、掃除道具入れ

A3=1:50, A1=1:25



環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

八千代保育園改築工事

図名

トイレ詳細図3

上山寛アトリエ



株式会社 環境デザイン研究所

(株) 金箱構造設計事務所

(株) ホープ設備設計事務所

年月日

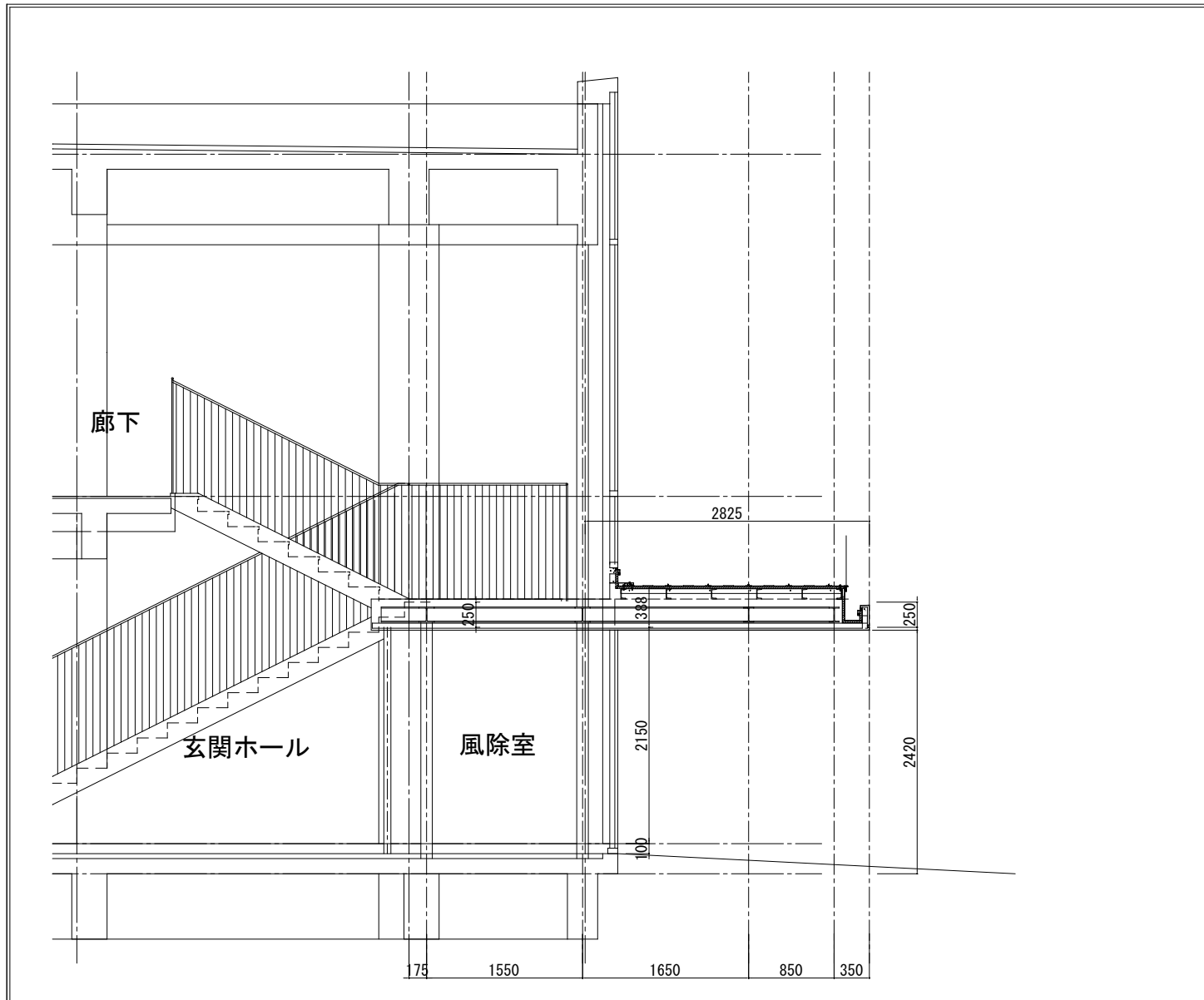
2014.03.14

縮尺

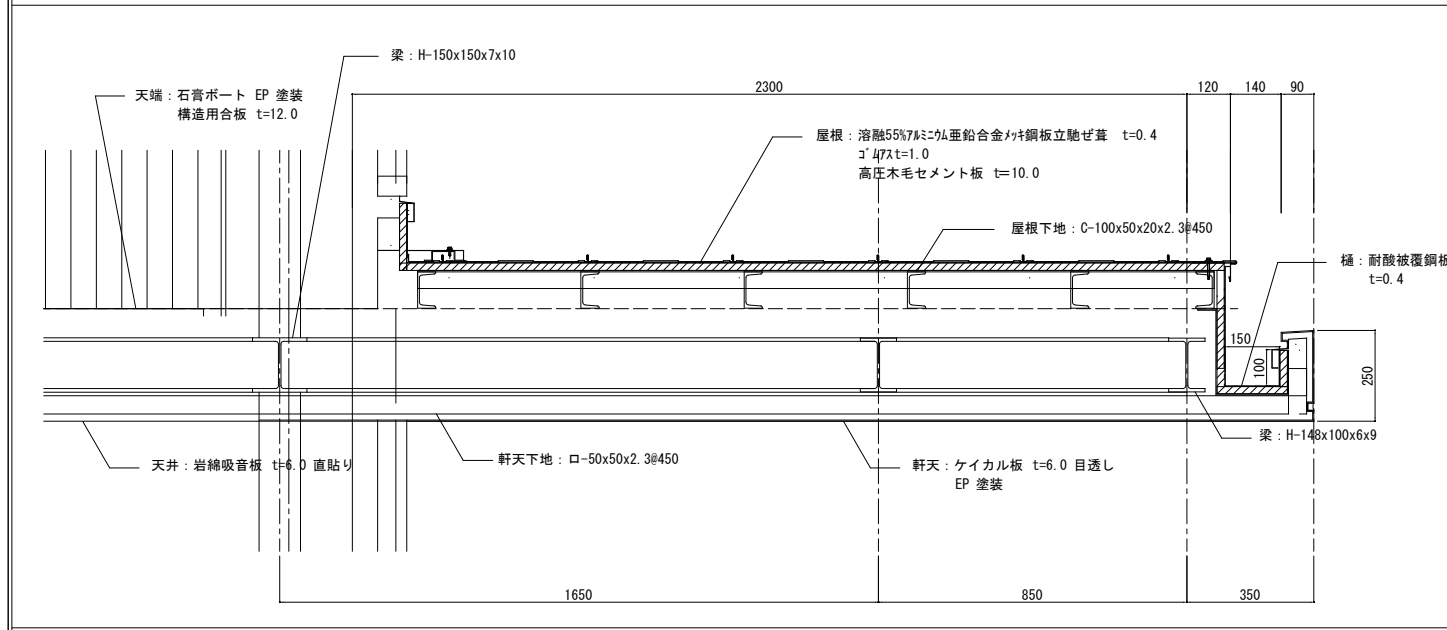
A1:1/50, A3:1/100

図面番号

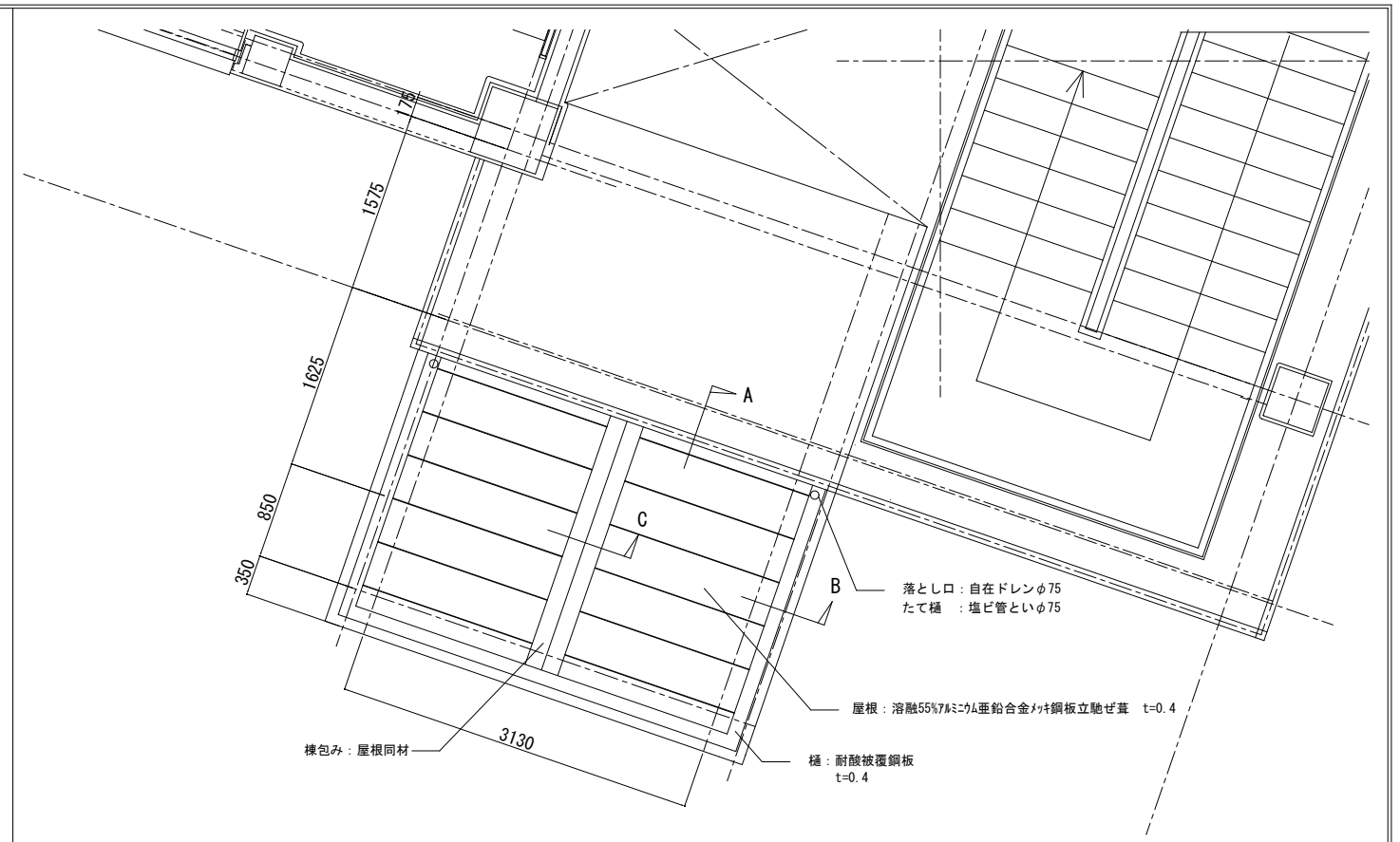
A-147



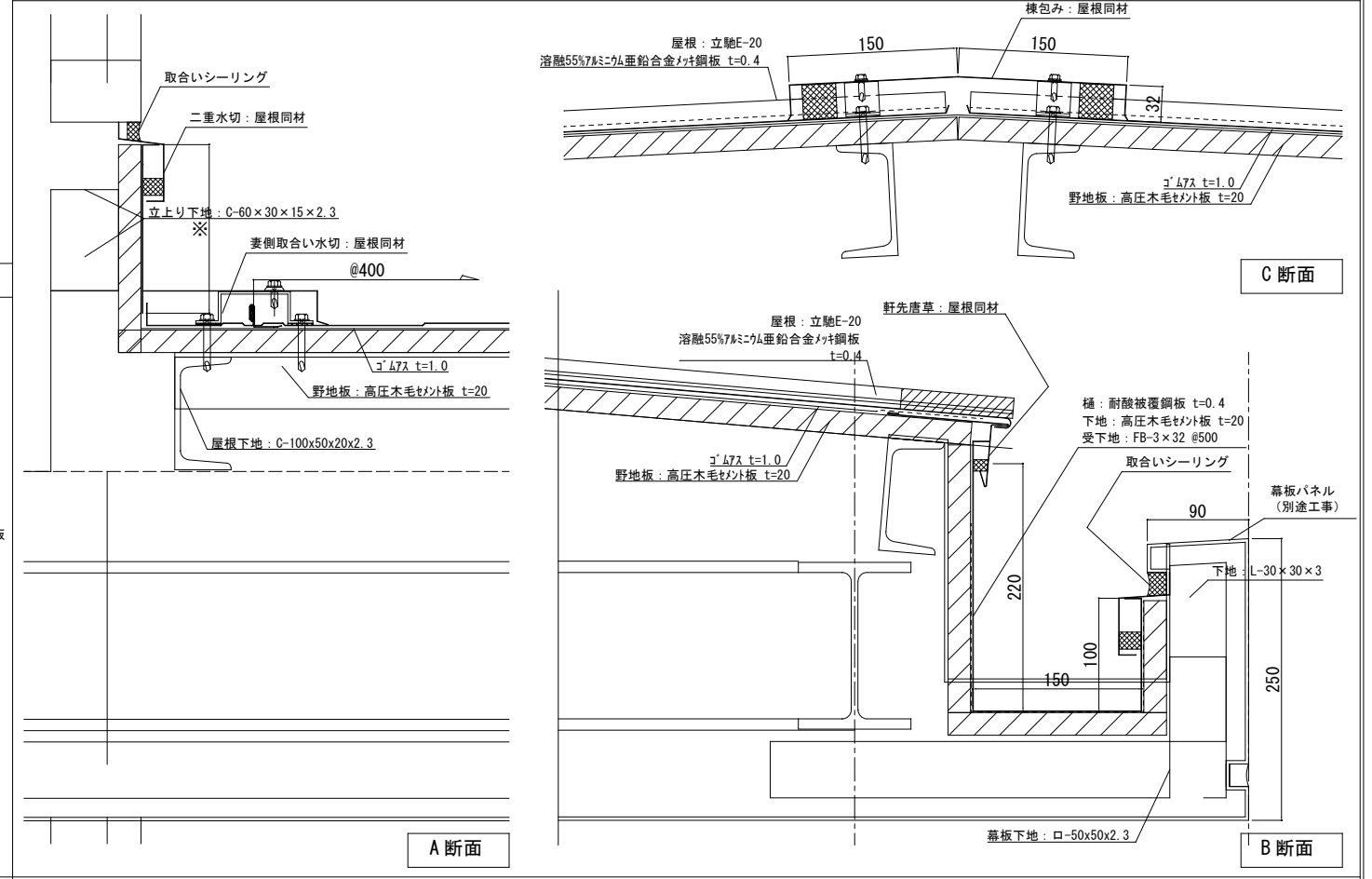
断面図 A1:1/30 A3:1/60



詳細図 A1:1/10 A3:1/30



キャンピー屋根伏図 A1:1/30 A3:1/60



各部断面詳細図 A1:1/3 A3:1/6

<p>環境デザイン・上山アトリエ設計共同企業体</p>				<p>新潟市建築部公共建築第1課</p>		<p>工事名 八千代保育園 改築工事</p>		<p>図名 キャンピー詳細図</p>			
<p>上山アトリエ 〒951-8052 新潟市中央区下天川通4丁目223番地1187(大川前)13 一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ハ) 第3419号 tel. 025-228-0252 一級建築士 198751号 上山 亮 fax. 025-228-0085</p>		<p>株式会社 環境デザイン研究所 〒106-0032 東京都港区六本木5丁目12番2号赤坂ビル 一級建築士事務所 東京都知事登録 第9955号 tel. 03-5575-7171 一級建築士 第48156号 齋藤 義 fax. 03-5575-7175</p>		<p>(株) 金箱構造設計事務所 〒141-0031 東京都品川区南品川5丁目12-14東京瑞穂:5F 一級建築士事務所 東京都知事登録 第35591号 一級建築士 第122854号 金箱 浩希 tel. 03-5496-2921 fax. 03-5496-2922</p>		<p>(株) ホープ設備設計事務所 〒951-8025 新潟市中央区南町1-2438-2 一級建築士事務所 新潟県知事登録 (ト) 第1376号 一級建築士 第168519号 折原 孝典 tel. 025-228-7714 fax. 025-228-7713</p>		<p>年月日 2014.03.14</p>		<p>縮尺 A1:1/50 A3:1/100</p>	
						<p>図面番号 A-155</p>					

9 開口補強

1. 梁貫通孔

(1) 貫通孔の径、位置、配置

- 孔径は、梁せいDの1/3以下とする。孔が円形でない場合は、これの外径とする。
- 孔の上下方向の位置の限度dは下図の通りとする。
- 孔の左右方向の位置の限度は、柱及び直交する梁(小梁)面から原則として1.2D以上離す。
- 孔が並列する場合の中心間隔(水平距離)は、隣接する孔径の平均値の倍以上とする。

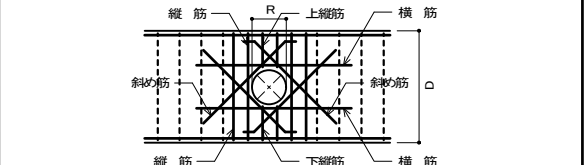
梁貫通孔可能範囲

$D < 500\text{mm}$ $d \geq 150\text{mm}$
 $500\text{mm} \leq D < 700\text{mm}$ $d \geq 175\text{mm}$
 $700\text{mm} \leq D < 900\text{mm}$ $d \geq 200\text{mm}$
 $900\text{mm} \leq D$ $d \geq 250\text{mm}$

(2) 補強要領

補強方法は、原則として下図の方法とする。これ以外の補強要領とする場合、もしくは、既製品による補強を行う場合は監理者の承認を得ること。

- 縦筋及び上下筋は、あばら筋の形に配置する。
- 補強筋は、原則として主筋の内側に配置する。
- 孔径が梁せいの1/10以下かつ150mm未満のものは、補強を省略する事ができる。



記号	貫通孔径 R (mm)	梁せい D (mm)	斜め筋	縦筋	横筋	上縦筋 下縦筋	箇所数
H1			なし	なし	なし	なし	
H2			2-2-D13				
H3	100~150	600	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4			4-2-D16				
H5			4-2-D16				
H6			4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7			4-2-D22				
H8			4-2-D16	4-2-D16	2-2-D16	4-2-D13	

凡例

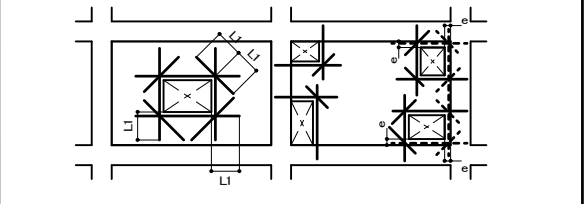
斜め筋: 4-2-D22 → 4本のD22を2面に配置する
 縦筋: 4-2-D13 → 4本のスターラップ形状のD13を孔の両側に配置する
 上下縦筋: 3-2-D13 → 3本のスターラップ形状のD13を孔の上下に配置する

2. 壁開口

補強筋の径、本数は標準図による。

開口部の最大径が200mm以下で、鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋できる場合は補強を省略できる。

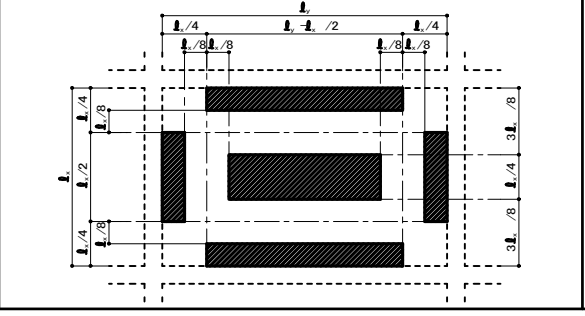
e ≤ 200mmの場合、破線で示した補強筋は不要とする。



3. スラブ開口

(1) 開口の範囲

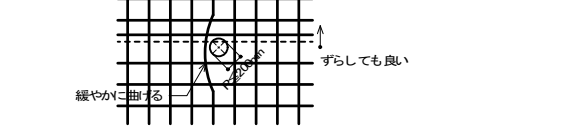
- スラブリブの開口可能範囲は、原則として下図の範囲とする。
- 施工時に一時的に設ける開口(ダマケ)は、原則として設けないこととするが、やむを得ず設ける場合は下図準じて配置の計画をし、監理者の承認を得ること。



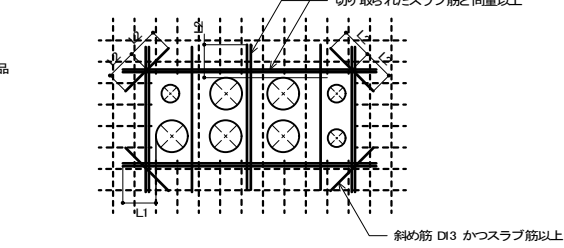
(2) 補強要領

A 開口部の最大径が200mm以下の場合

- 単独の開口(孔径の3倍以上離れている場合も含む)で、鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋できる場合は補強を省略できる。この場合、スラブ筋をずらしても良い。

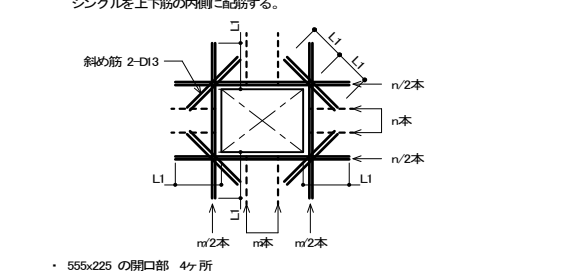


複数の開口を連続して設けた場合、開口群を一つの開口と見なして補強筋を設置する。



B 開口部の最大径が700mm以下の場合

- 開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部は斜め方向に2-D10シングルを上下筋の内側に配置する。



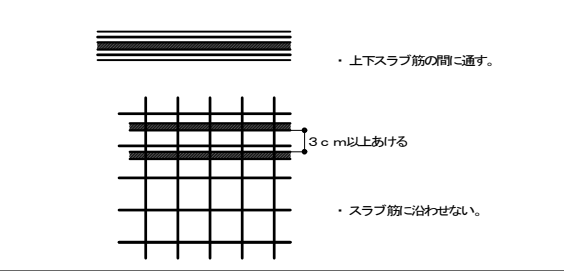
10. 設備配管

1. 柱・梁

- 柱への打込みは行わないこと。コンセント・ボックスなど縦主筋設置する場合は柱断面を打増し、5.3に従って補強を配筋すること。
- 梁に打込む場合は、事前に監理者の承認を得ること。

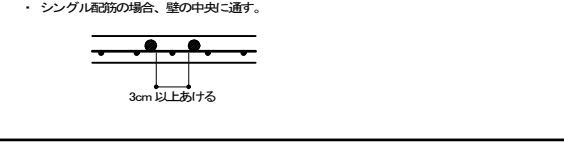
2. スラブ

- 上下スラブ筋の間に通す。
- スラブ筋と平行に設けないこと。
- スラブ内に配管が集中する場合は、事前に監理者に報告の上、協議すること。



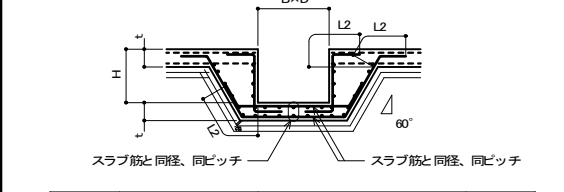
3. 壁

- ダブル配筋の場合、壁筋の内側に通す。
- シングル配筋の場合、壁の中央に通す。



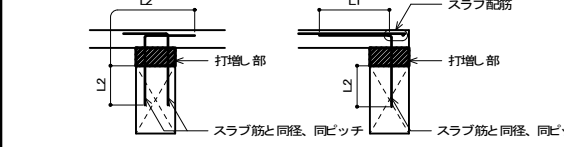
11. 雑居階詳細

1. 基礎スラブピット

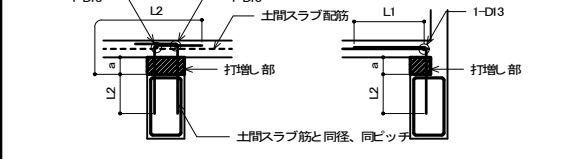


釜場記号	位置	軸	通り	大きさ	スラブ厚 t (mm)
		BK	DX	HK	
X2-X3	Y17-Y18	500	500	500	180
X2-X3	Y13-Y14	500	500	500	180
X2-X3	Y17-Y18	500	500	500	180
X5-X6	Y4-Y5	500	500	500	180

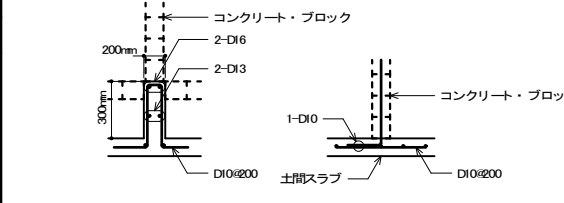
2. 置きスラブと基礎梁の接合(シアコネクター)



3. 土間スラブリブの補強

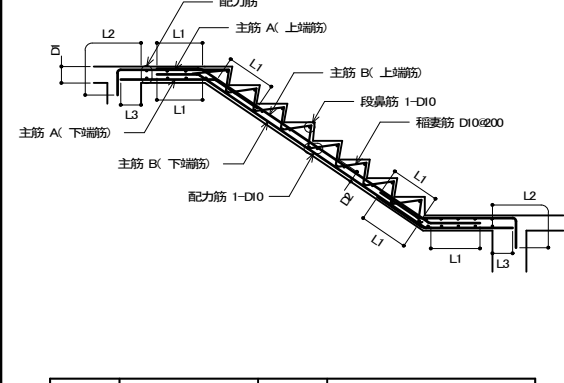


4. コンクリート・ブロック受け



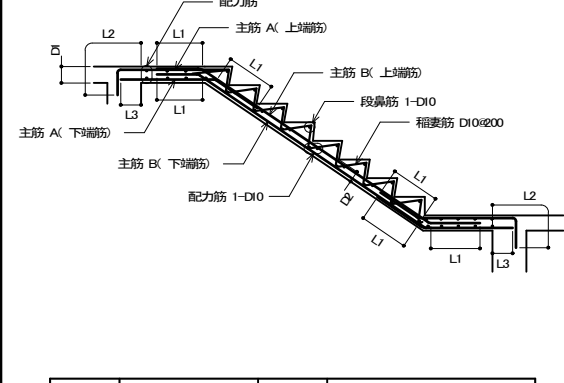
9. 階段

(1) 一方固定スラブ階段



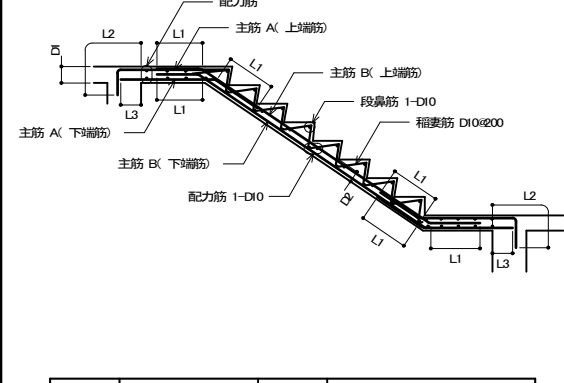
階段記号	厚さ		位置	配筋		
	D1 (mm)	D2 (mm)		主筋 A	主筋 B	配筋筋
			上端筋			
			下端筋			
			上端筋			
			下端筋			
			上端筋			
			下端筋			

(2) 二辺固定スラブ階段



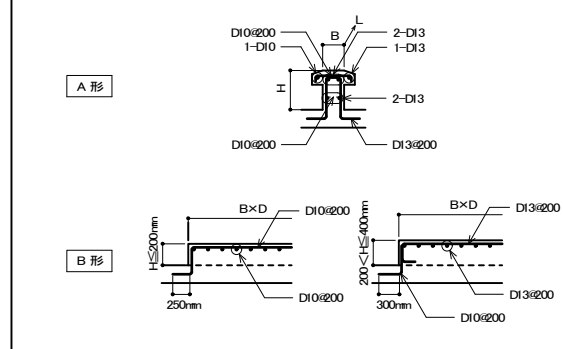
階段記号	厚さ		位置	配筋			
	D1 (mm)	D2 (mm)		主筋 A	主筋 B	配筋筋	壁補強筋
			上端筋				
			下端筋				
			上端筋				
			下端筋				
			上端筋				
			下端筋				

(3) 片持ちスラブ階段



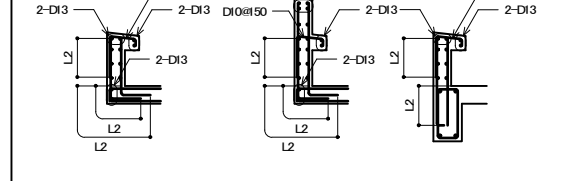
階段記号	厚さ		位置	配筋			
	D1 (mm)	D2 (mm)		主筋 A	主筋 B	配筋筋	壁補強筋
			上端筋				
			下端筋				
			上端筋				
			下端筋				
			上端筋				
			下端筋				

5. 機械基礎

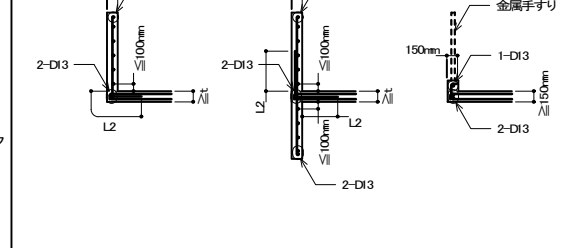


基礎記号	位置	形状	大きさ			
			BK (mm)	DX (mm)	HK (mm)	
ME1	BK10-11	BK2-3	E型	950	2900	600
ME2	BK1-2	BK1-2	E型	500	1300	500
ME3	BK2-9	BK1-2	A型	450	450	500

6. バラベット



7. 手すり



8. 耐震スリット(完全絶縁型)

